

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDV

HDV 1080i



Mini DV Digital Video Cassette



M SERIES



お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害
など人への危害、また火災などの財産への損害を
未然に防止するため、次のことを必ずお守りくだ
さい。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部
とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障
したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破
損していることに気がついたら、すぐにソニーのお
問い合わせ窓口またはお買い上げ店に修理をご連
絡ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

- ➔
- 1 電源を切る
 - 2 電池をははず
 - 3 ソニーの相談窓口
に連絡する

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- 1 すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や
気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 2 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水
などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治
療を受けてください。
- 3 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水
で口を洗浄し、医師に相談してください。
- 4 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い
流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次の
ような表示をしています。



この表示のある事項を守らないと、
極めて危険な状況が起こり、その結
果大けがや死亡にいたる危害が発
生します。



この表示のある事項を守らないと、
思わぬ危険な状況が起こり、その結
果大けがや死亡にいたる危害が発
生することがあります。



この表示のある事項を守らないと、
思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあ
ります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコン
セントから抜く



指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」と
は、バッテリーパックも含まれます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機で使えるカセットについて

- 本機はHDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。
HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。カセットメモリーには非対応です(101ページ)。

HDV規格とは

- DV規格カセットにデジタルハイディフィション(HD)映像の記録・再生ができます。
- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です(詳しくは101ページ)。
- HDV規格は圧縮方式を使用しているため画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機で使える“メモリースティック”について

本機では、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUOマーク付きの“メモリースティック デュオ”が使えます(詳しくは105ページ)。

“メモリースティック デュオ” (本機で使用できるサイズ)



“メモリースティック” (本機では使用できません)



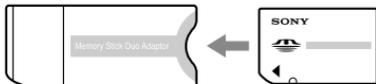
- “メモリースティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”は“メモリース

ティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

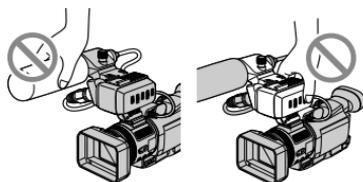
必ず“メモリースティック デュオ”を付属のメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック デュオ アダプター



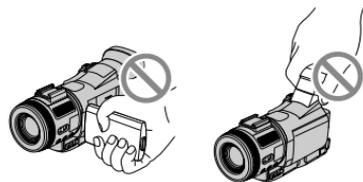
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。



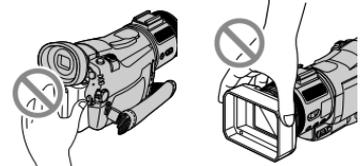
マイク

XLRアダプター



液晶画面

ファインダー



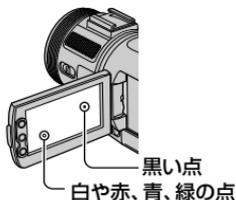
バッテリー

レンズカバー付きフード

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください(109ページ)。
- コンポーネントビデオケーブル、USBケーブル、i.LINKケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(96ページ)。

録画/録音に際してのご注意

- 事前のためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合、記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声乱了れた場合、画像や音声などの記録内容及び、撮影機会の損失に対する保証についてはご容赦く

ださい。

- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、HDV規格に対応していない機器で再生することができません(青一色の画面になります)。

他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

本書について

画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外觀は、予告なく変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

文中のマークについて

HDV1080i HDV規格だけで使える機能です。

DVCAM DVCAMだけで使える機能です。

DV  DVSPだけで使える機能です。

安全のために	2
使用前に必ずお読みください	3

準備する

準備1: 付属品を確かめる	8
準備2: バッテリーを充電する	9
準備3: 電源を入れて正しく持つ	12
準備4: 液晶画面とファインダーを調節する	13
準備5: タッチパネルを操作する	14
準備6: 時計を合わせる	15
準備7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる	16
準備8: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける	18



撮る／見る

撮る	20
見る	21
撮る／見るときに使う機能など	22
[撮る] ズームする	
画像の明るさや露出を設定する(カメラ明るさ/AEシフト)	
暗い場所で撮る(NightShot)	
被写体をより際立たせる(テレマクロ)	
AUTO LOCKスイッチを使う	
手動でピントを合わせる	
画像を拡大してピントを合わせる(拡大フォーカス)	
逆光を補正する	
自分撮り(対面撮影)する	
三脚を使って撮る	
[見る] 再生ズームする	
動画の音量を調節する	
[共通] バッテリーの残量を確認する(バッテリーインフォ)	
機能を登録する	
操作音を消す	
お買い上げ時の設定に戻す	
その他の部分の名前とはたらき	
撮る／見るときの画面表示	26
撮影を始めるテープ位置を頭出しする	29
最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)	29

テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)	29
リモコンで使う	30
撮影日でテープを頭出しする(日付サーチ)	30
テレビにつないで見る	32

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	36
メニュー一覧	38
 CAMERA SET メニュー	41
撮影状況に合わせるための設定 (SPOT METER/WHITE BAL./ STEADYSHOT など)	
 MEMORY SET メニュー	47
"メモリースティック デュオ"に関する設定 (BURST/QUALITY/IMAGE SIZE/ALL ERASE/NEW FOLDER など)	
 PICT.APPLI. メニュー	50
画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能 (SLIDE SHOW/PICT. EFFECT など)	
 EDIT/PLAY メニュー	54
編集/変速再生の設定 (VAR.SPD PB/END SEARCH など)	
 STANDARD SET メニュー	55
テープ撮影時の設定や、各種基本設定 (REC MODE/AUDIO MODE/LCD/ VF SET/DISP OUTPUT など)	
 TIME/LANGU. メニュー	64
(CLOCK SET/WORLD TIME)	
パーソナルメニューを変更する	65

ダビングや編集をする

他のビデオやDVD機器などにダビングする	67
ビデオの画像を本機で録画する	70
テープの画像を"メモリースティック デュオ"に取り込む	71
"メモリースティック デュオ"の画像を消す	72
"メモリースティック デュオ"の画像にマークをつける (プロテクト/プリントマーク)	72
記録した画像を印刷する (PictBridge 対応プリンター)	73
外部機器をつなぐ端子について	75

パソコンとつなぐ

パソコンと接続する	76
静止画をパソコンに取り込む	76

テープの動画をパソコンに取り込む	79
------------------------	----

困ったときは

故障かな?と思ったら	81
警告表示とお知らせメッセージ	96

その他

海外で使う	100
HDV 規格と記録・再生について	101
DVCAM/DV 規格の互換性について	103
“メモリースティック”について	105
InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーについて	107
i.LINK (アイリンク) について	108
取り扱い上のご注意とお手入れ	109
主な仕様	112
保証書とアフターサービス	114

安全のために

115

各部のなまえ・索引

各部のなまえ	119
索引	122

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

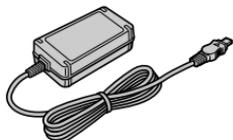
“メモリスティック デュオ” (1)
(16、105ページ)



メモリスティック デュオ アダプター
(1) (106ページ)



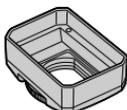
ACアダプター (1) (9ページ)



電源コード(1) (9ページ)



レンズカバー付きフード(1) (19、120ページ)



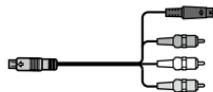
晴れた日の屋外など強い光源のある場所で取り付けます。

ワイヤレスリモコン(1) (30ページ)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

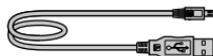
AV接続ケーブル(1) (32、67ページ)



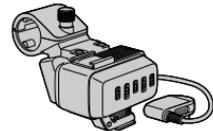
コンポーネントビデオケーブル(1)
(32、67ページ)



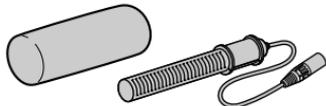
USBケーブル(1) (76ページ)



XLRアダプター (1) (18ページ)



ウインドスクリーン(1)、
マイク(1) (18ページ)



リチャージャブルバッテリーパック
NP-FM50 (1) (9、107ページ)

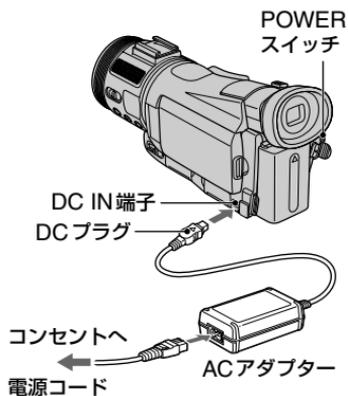
取扱説明書 <本書> (1)

保証書(1)

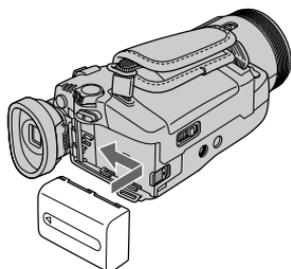
ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内(1)

準備2: バッテリーを充電する

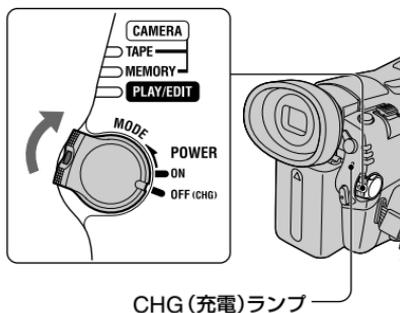
専用の“インフォリチウム”バッテリー (Mシリーズ) (107ページ)を本機に取り付けて充電します。



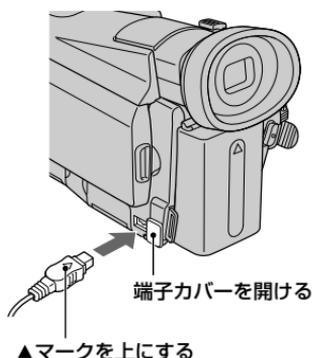
- 1 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして、取り付ける。



- 2 POWER スイッチをずらして、「OFF (CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。



- 3 DC プラグの▲マークを上にして、ACアダプターを本機のDC IN 端子につなぐ。



- 4 電源コードでACアダプターとコンセントをつなぐ。

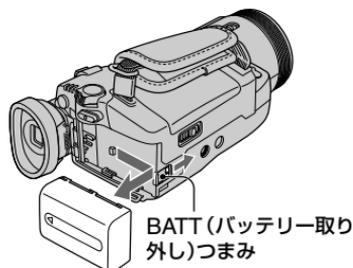
CHG (充電) ランプが点灯し、充電が始まります。

5 CHG (充電)ランプが消え、充電が終わったら(満充電)、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

DCプラグと本機を持って抜いてください。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする。BATT (バッテリー取り外し)つまみをずらしながら、バッテリーを取り外す。



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する(107ページ)。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使えます。バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FM50 (付属)	150
NP-QM71D	260
NP-QM91D	360

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格で撮影したとき(XLRアダプター装着時)

バッテリー型名	連続撮影時*	実撮影時*
NP-FM50 (付属)	70	35
	75	40
	70	35
NP-QM71D	175	95
	190	105
	180	100
NP-QM91D	270	150
	290	160
	280	155

DVCAM (DV)規格で撮影したとき(XLRアダプター装着時)

バッテリー型名	連続撮影時*	実撮影時*
NP-FM50 (付属)	80	40
	90	50
	80	40
NP-QM71D	200	110
	220	120
	205	110
NP-QM91D	300	165
	330	180
	315	175

* 上段：液晶画面バックライトが「ON」のとき
中段：液晶画面バックライトが「OFF」のとき
下段：液晶画面を閉じてファインダー使用時

●実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50(付属)	100	110
NP-QM71D	240	275
NP-QM91D	365	420

DVCAM(DV)規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50(付属)	125	145
NP-QM71D	305	355
NP-QM91D	465	535

* 液晶画面バックライトが「ON」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中のCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(25ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- 付属または別売りのソニー製「インフォリチウム」バッテリー(Mシリーズ)をお使いください。バッテリー NP-FM30は本機では使用できません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリー NP-QM71DまたはNP-QM91Dのご使用をおすすめします。

充電/撮影/再生時間について

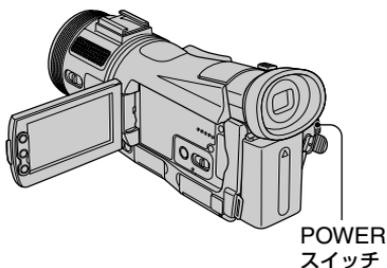
- 25℃(10℃～30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

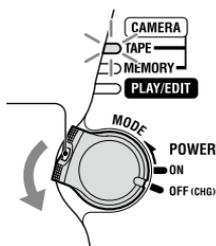
準備3：電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチを操作して、ランプを点灯させます。初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります(15ページ)。



1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返すずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

「OFF (CHG)」から電源を入れるときは、押しなが下にはずらす。

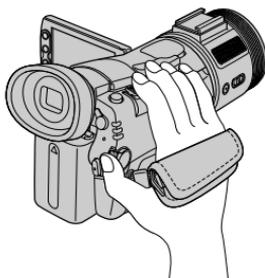


点灯させるランプ

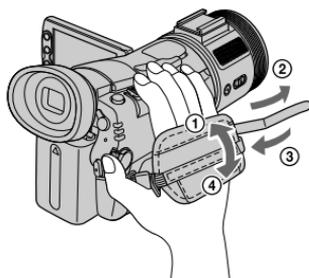
「CAMERA-TAPE」: テープに撮影時
「CAMERA-MEMORY」: “メモリースティック デュオ”に撮影時
「PLAY/EDIT」: 再生や編集時

- 電源を切った状態から、「CAMERA-TAPE」、または「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯させると、液晶画面に現在の日時が約5秒間表示されます。
- お買い上げ時は、液晶画面上のメニュー項目や警告表示などは英語で表示されます。日本語または簡易英語で表示するには、64ページをご覧ください。

2 本機を正しく構える。



3 ベルトをしっかりと締める。



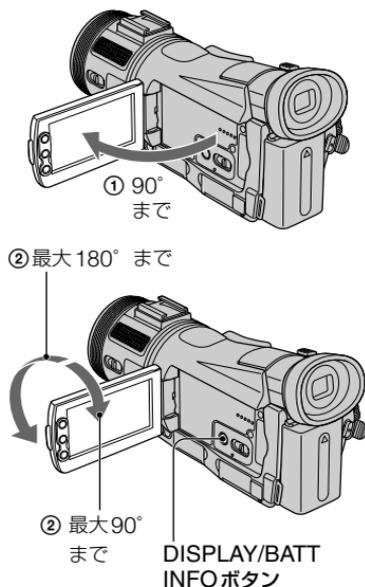
電源を切るには

POWERスイッチを上にはずらして、「OFF (CHG)」にする。

準備4：液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き①、見やすい角度に調節する②。



- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面の横にあるボタンを誤って押さないよう、ご注意ください。
- 液晶画面を①の状態からレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面を閉じるときは、液晶画面を①の状態にしてから、本体に向けて閉じます。

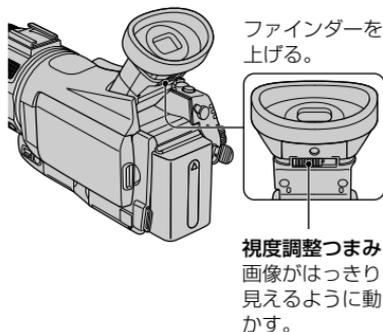
液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAY/BATT INFO ボタンを  が表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。解除するにはもう1度  が消えるまで押したままにする。

- 液晶画面の明るさは、[LCD BRIGHT] (58ページ)で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。液晶画面使用時より、バッテリーは長持ちします。



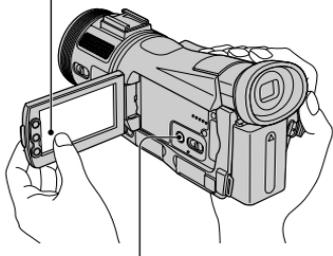
- ファインダーのバックライトの明るさは、 STANDARD SET → [LCD/VF SET] → [VF B.LIGHT] で設定できます (58ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、 STANDARD SET → [LCD/VF SET] → [VF POWER] を [ON] にします (58ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、 STANDARD SET → [LCD/VF SET] → [VF COLOR] を [OFF] にします (58ページ)。

準備5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するとき(21ページ)や、メニューで設定を変更するとき(36ページ)は、液晶画面をタッチして操作します。

液晶画面の背面を手で支えながら画面上のボタンを指で軽くタッチする(触れる)。

画面のボタンをタッチ



DISPLAY/BATT INFO
ボタン

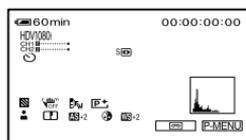
- 液晶画面の横にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- 液晶画面をタッチして操作するとき、液晶画面の横にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。

画面表示を消したいときは

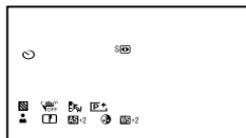
DISPLAY/BATT INFO ボタンを押すたびに、タイムコードなどの情報が切り替わる。

POWER スイッチが「CAMERA-TAPE/CAMERA-MEMORY」のときは、詳細表示→簡易表示→非表示の順で切り替わる。「PLAY/EDIT」のときは、表示→非表示の順で切り替わる。

詳細表示



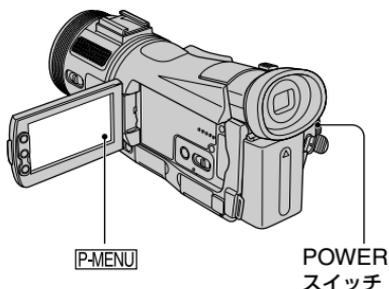
簡易表示



準備6：時計を合わせる

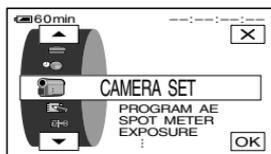
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。

- 3か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(111ページ)。

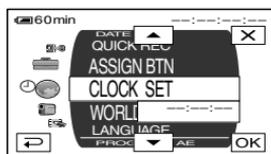


初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

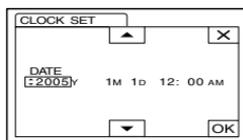
- 1 **P-MENU** → **[MENU]** をタッチする。



- 2 **▲/▼** で **TIME/LANGU.** を選び、**OK** をタッチする。

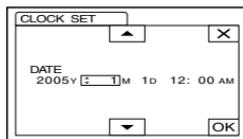


- 3 **▲/▼** で **[CLOCK SET]** を選び、**OK** をタッチする。



- 4 **▲/▼** で **[Y]** (年) を合わせ、**OK** をタッチする。

2079年まで設定できます。



- 5 同様に、**[M]** (月)、**[D]** (日)、時、分を合わせ、**OK** をタッチする。

時計が動き始めます。

真夜中は 12:00AM、正午は 12:00PM です。

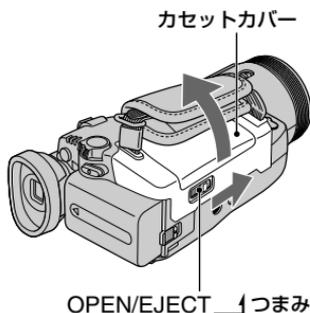
準備7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる

カセットを入れる

使えるカセットや誤消去防止方法など、カセットについて詳しくは、101ページをご覧ください。

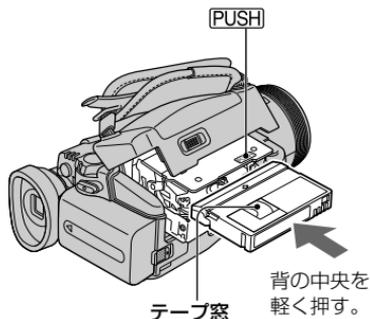
- [ REC MODE]によって、録画可能時間は異なります(55ページ)。**DVCAM DV** 

1 OPEN/EJECT つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。



カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、**[PUSH]**マークを押す。



カセット入れが自動的に収納されます。無理に押し込むと、故障の原因になります。

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

手順1と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

“メモリースティック デュオ”を入れる

MEMORY STICK DUO・MEMORY STICK PRO DUO マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます(105ページ)。

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については48ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。



- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

“メモリースティック デュオ”を取り出すには

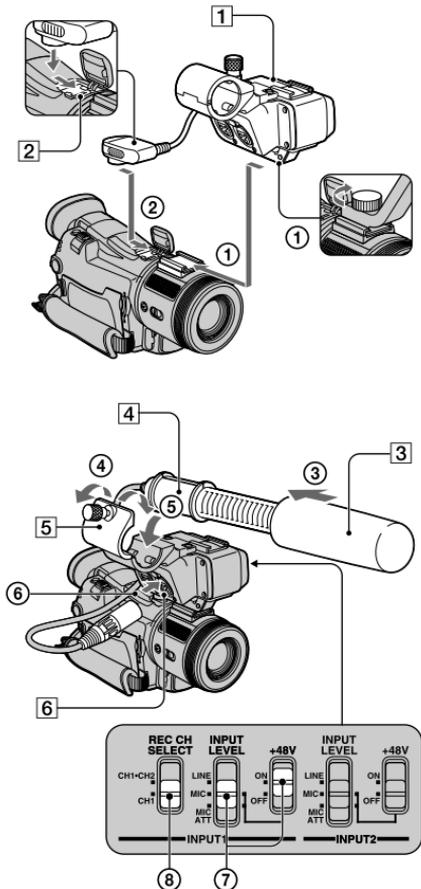
“メモリースティック デュオ”を軽く1回押し取り出す。

- アクセスランプの点灯中や点滅中はデータの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”の飛び出しにご注意ください。

準備8: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

マイクを取り付ける

付属のXLRアダプターとマイクを取り付けて、好みの音質を得ることができます。



1 XLRアダプター ① を本機のアクセサリースューに取り付け、XLRアダプターのネジを締める。

2 XLRアダプターの接続端子をアクティブインターフェースシュー ② に取り付ける。

3 付属のマイク ④ にウインドスクリーン ③ をかぶせる。

4 マイクホルダー ⑤ のネジをゆるめ、取り付け部のカバーを開ける。

5 マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーのネジを締める。

マイクは、型名(ECM-NV1)が記された部分があるように取り付けます。

6 マイクケーブルをINPUT1端子 ⑥ につなぐ。

7 INPUT LEVELスイッチを「MIC」または「MIC ATT」にする。

「MIC ATT」にすると、音声を約20dB低減できます。

+48Vスイッチを「ON」にします。

8 REC CH SELECTスイッチで、使用するチャンネルを選ぶ。

記録されるチャンネルについては下の表をご覧ください。

REC CH SELECT スイッチの設定	接続する 端子	記録される チャンネル
CH1・CH2	INPUT1	チャンネル1 チャンネル2
	INPUT2	—
CH1	INPUT1	チャンネル1
	INPUT2	チャンネル2

- 以下の場合、メニューの[MIC NR]を「OFF」にすることをおすすめします。
 - マイクを本体から離して使うとき
 - REC CH SELECTスイッチを「CH1」に設定し、INPUT2端子から音声を入力しないとき
 - INPUT LEVELスイッチを「LINE」に設定しているとき
- +48 Vに対応したマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを「OFF」にしてください。+48Vスイッチを「ON」にしたままで使用すると、接続した機器が故障することがあります。
- 風が強いときにINPUT1端子から音声を入力しているときはLOW CUTスイッチのINPUT1を「ON」に、INPUT2端子から音声を入力しているときはINPUT2を「ON」にしてください。風音が低減されません。
- マイク以外の機器をつなぐときは+48Vスイッチを「OFF」にし、INPUT LEVELスイッチを「LINE」にしてください。
- 外部マイクを取り付けるときは、簡易全面面表示またはアンダースキャンできるモニターで、ウィンドスクリーンが画面に入らないことを確認してください。

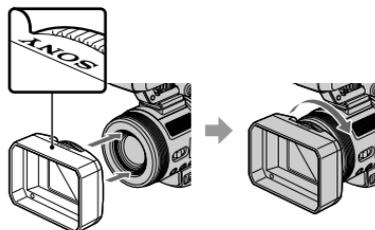
XLRアダプターを取り外すには

接続端子をアクティブインターフェースシューから外して、XLRアダプターのネジをゆるめて外してください。

- マイクケーブルを外すときはPUSHボタンを押しながら、プラグを持って引き抜いてください。

レンズカバー付きフードを取り付ける

本体のレンズカバー付きフード取り付け部に合わせてレンズカバー付きフードを差し込む。フード固定ネジを矢印の方向に回す。



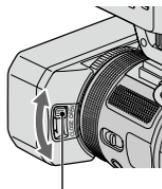
取り外すには

フード固定ネジを上記の矢印と反対方向に回してゆるめる。

- レンズカバー付きフードが装着されているときに別売りのフィルターを取り付けることはできません。

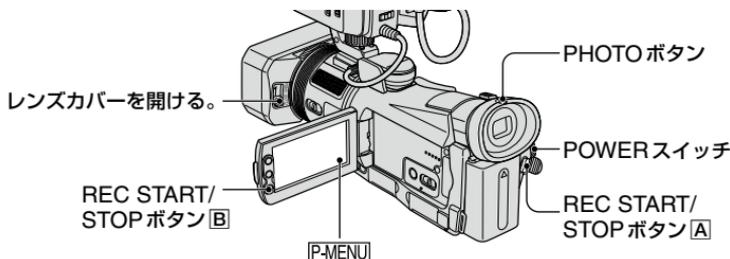
レンズカバーを開閉するには

開閉するにはレンズカバーレバーを上下に動かす。



レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。

撮る



1 POWER スイッチを矢印の方向に繰り返すずらして、使用するモードのランプを点灯させ、記録するメディアを選ぶ。

テープに動画を撮るとき：

「CAMERA-TAPE」ランプを点灯

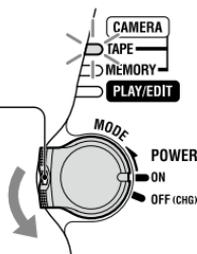
「メモリースティック デュオ」に

静止画を撮るとき：

「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯*

* お買い上げ時の設定では、画像の比率は4:3になります。

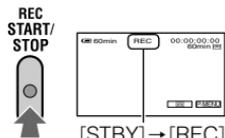
「OFF (CHG)」から電源を入れるときのみ、押しながりにずらす。



2 撮影を始める。

動画のとき

REC START/STOP ボタン [A] (または [B]) を押す。

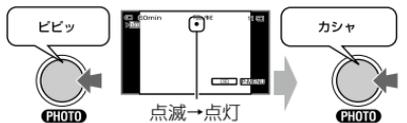


動画撮影を止めるには、REC START/STOP ボタンをもう1度押す。

• お買い上げ時にはHDV規格で撮影するように設定されています(55ページ)。

静止画のとき

PHOTO ボタンを軽く押ししてピントを合わせ、深く押す。



軽く押ししてピント合わせ

「カシャ」と鳴り、||||が消えると記録される。

深く押しして撮影

• テープに動画を撮影中や、スタンバイ中にPHOTO ボタンを深く押すと、「メモリースティック デュオ」に静止画を撮影できます。静止画の画像サイズは、HDV規格で撮影中は1440×810で、DVCAM (DV) 規格で撮影中は1080×810 (4:3)、または1440×810 (16:9)で記録されます。

「メモリースティック デュオ」に記録した画像をすぐに確認する

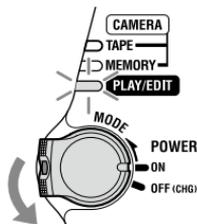
をタッチする。画像を消すには、

→ [YES] をタッチする。 をタッチすると、スタンバイに戻る。

• 画像サイズについては、48ページをご覧ください。

見る

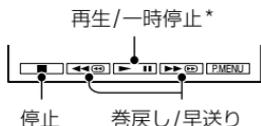
- 1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「PLAY/EDIT」ランプを点灯させる。



2 再生を始める。

動画のとき

をタッチして見たい位置まで巻戻し、をタッチして再生する。

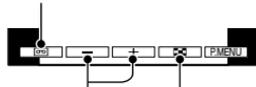


* タッチするたびに切り換わります。一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。

静止画のとき

MEMORYをタッチする。
最後に撮影した画像が表示される。

テープ再生切り換え



前/次の画像を表示 一覧表示(下記)

- “メモリースティック デュオ”が入ってなかったり、“メモリースティック デュオ”に画像が入っていないときには、**MEMORY**が表示されません。

動画の音量を調節する

EXPOSURE/VOLレバーを上下に動かして調節する(24ページ)。

動画を見ながら場面を探す

/をタッチしたままにする(ピクチャーサーチ)。

早送り中に見るときはを、巻戻し中はをタッチしたままにする(高速アクセス)。

- テープは変速再生できます([] VAR.SPD PB) (54ページ)。

“メモリースティック デュオ”の画像を一覧表示する(インデックス表示)

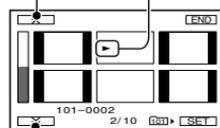
をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

別フォルダの画像を見るときは、→

[] → [PB FOLDER]をタッチし、/で選び[OK]をタッチする(50ページ)。

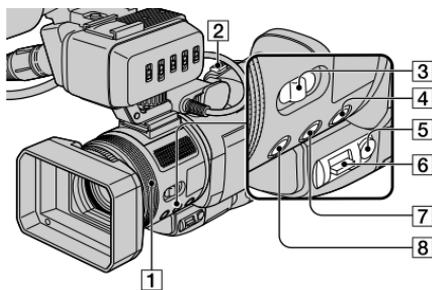
インデックス表示時の画面

前の6枚 一覧表示前の画像

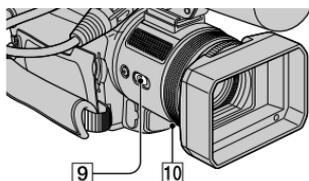


次の6枚

撮る/見るときに使う機能など



- ズームリング**1**を使うときは、FOCUS/ZOOMスイッチ**3**を「ZOOM」にしてから好みの速さで回してください(②が表示される)。
- 液晶画面の横のズームボタン**11**ではズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 倍率が10倍を超えたときに、[DIGITAL ZOOM] (46ページ)できます。
- ズームリングを速く回しすぎると、ズームがリングの回転に追いつけないことがあります。

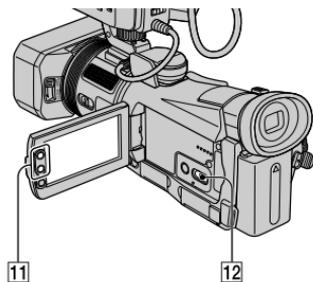


画像の明るさや露出を設定する

(カメラ明るさ/AEシフト).....**5****6**



EXPOSURE/VOLレバー
EXPOSUREボタン



画像の明るさや露出の設定をEXPOSURE/VOLレバー**6**で調節できます。あらかじめAUTO LOCKスイッチを「OFF」にしておいてください(23ページ)。

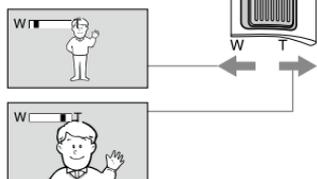
- ① [EXPOSURE LEVER] (47ページ)でEXPOSURE/VOLレバーに割り当てる設定を選択する。
[EXPOSURE] (42ページ)または[AESHIFT] (43ページ)を割り当てることができます。
 - ② EXPOSUREボタン**5**を押す。
割り当てられた設定が手動になります。
 - ③ EXPOSURE/VOLレバー**6**を上下に動かして調節する。
レバー操作で行う内容は、メニュー画面で行う設定と同じです。
- 自動調節に戻すには、再度EXPOSUREボタンを押してください。

撮るとき

ズームする.....**1****2****3****11**

ズームレバー**2**を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角: Wide (ワイド)



望遠: Telephoto (テレフォート)

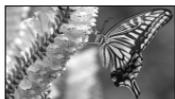
暗い場所で撮る(NightShot).....[9]

NIGHTSHOTスイッチ [9] を「入」にする。
 (☉と「NIGHTSHOT」)が表示される。)

- さらに高感度で撮影するには Super NightShot (45ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するには Color Slow Shutter (45ページ)が使えます。
- NightShotと Super NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部 [10] を指などで覆わず、付属のレンズカバー付きフードやコンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手でピント合わせしてください(23ページ)。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

被写体をより際立たせる**(テレマクロ).....[8]**

TELE MACRO ボタン [8] を押す。T \downarrow が表示され、ズームが自動で望遠(T側)になり、約48cmまでの近接撮影ができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。



解除するには、もう1度押す。またはズームを広角(W側)にする。

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手でピント合わせしてください(23ページ)。

AUTO LOCKスイッチを使う.....[12]

AUTO LOCKスイッチ [12] を「OFF」にすると、以下を手動で調節できる。「ON」にすると、オートになる。

- [SPOT METER]
- [EXPOSURE]
- [PROGRAM AE]
- [WHITE BAL.]
- [SHUTTR SPEED]

- 「OFF」で手動調節した設定は、「ON」に戻したり、再度「OFF」にしても設定を保持します。
- 別売りのフラッシュを使うときは、AUTO LOCKスイッチを「ON」にすることをおすすめします。

手でピントを合わせる.....[1][3]

① FOCUS/ZOOMスイッチ [3] を「MANUAL」にする(☉が表示される)。

② フォーカスリング [1] を回して、ピントが合うように調節する。

自動ピント合わせに戻すには、FOCUS/ZOOMスイッチを「AUTO」にする。

- ピントに合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。
- ☉は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき●に変わります。
- ピントは、始めにズームレバーをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

画像を拡大してピントを合わせる**(拡大フォーカス).....[3][7]**

① 撮影スタンバイ中に FOCUS/ZOOMスイッチ [3] を「MANUAL」にする。

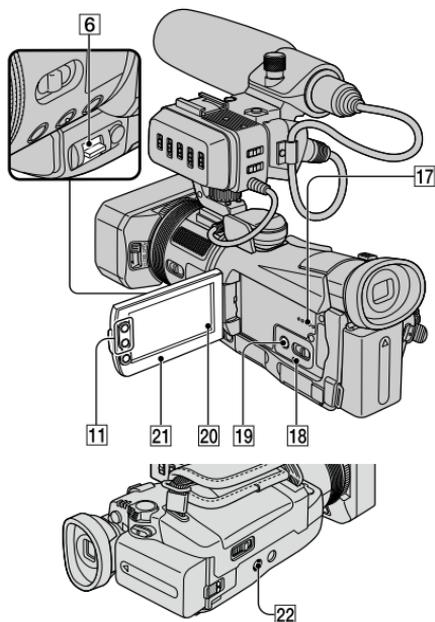
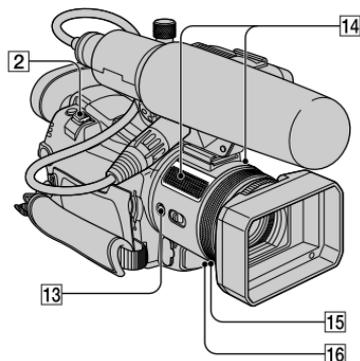
② EXPANDED FOCUS ボタン [7] を押すと、画像が2倍に拡大される。ピント合わせが終わると自動的に通常の表示に戻る。

解除するには、EXPANDED FOCUS ボタンをもう1度押す。

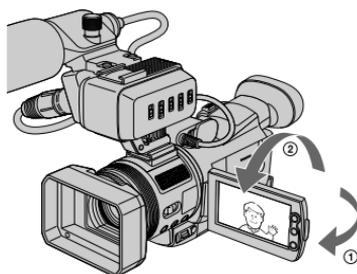
逆光を補正する.....[4]

BACK LIGHT ボタン [4] を押すと☉が表示されて、補正される。解除するには、もう1度押す。

撮る/見るときに使う機能など(つづき)



自分撮り(対面撮影)する**[21]**
 液晶画面**[21]**を90°まで開き(①)、レンズ側に180°回す(②)。



• 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

三脚を使って撮る.....**[22]**

三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴**[22]**に取り付けます。

• カセットテープを取り出すときは三脚を取り外してください。

見るとき

再生ズームする.....**[2][11]**

"メモリースティック デュオ"の静止画を約1.5～5倍の範囲でズームできます。倍率はズームレバー**[2]**または液晶画面の横のズームボタン**[11]**で調整できます。

- ① 拡大したい画像を表示する。
- ② T(望遠)で画像を拡大する。
- ③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
- ④ W(広角)/T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[END]をタッチする。

動画の音量を調節する.....**[6]**

EXPOSURE/VOLレバー**[6]**を上下に動かして調節する。上に動かすと大きく、下に動かすと小さくなる。

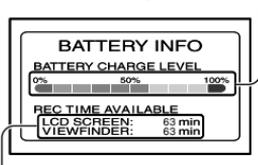
• STANDARD SET→[VOLUME]でも調節できます(56ページ)。

撮る／見る共通

バッテリーの残量を確認する(バッテリーインフォ)19

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしたあと、DISPLAY/BATT INFO ボタン¹⁹を押すと、選択している録画規格での録画可能時間とバッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量



およその撮影可能時間

機能を登録する13

機能を[ASSIGN BTN] (64ページ)で割り当てできます。

操作音を消す20

[BEEP] (63ページ)で設定できます。

お買い上げ時の設定に戻す18

RESET (リセット) ボタン¹⁸を押すと、日時を含めすべての設定が解除されます(パーソナルメニューに設定した内容は解除されません)。

その他の部分の名前とはたらき

14 内蔵ステレオマイク

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

15 REC ランプ

録画時に赤く点灯します(63ページ)。

テープやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

16 リモコン受光部

リモコン(30ページ)は、リモコン受光部に向けて操作します。

17 スピーカー

再生時の音声が聞けます。

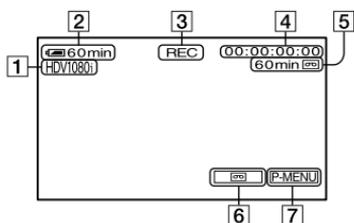
- 音量調節については、21ページをご覧ください。

撮る/見るときの画面表示

()内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

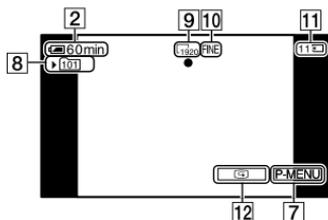
動画を撮影中

「CAMERA-TAPE」モードのとき



- 1 録画規格 (HDV1080i, DVCAM DV SP) (55)
- 2 バッテリー残量の目安
- 3 撮影状態 ([STBY] または [REC])
- 4 タイムコードまたはユーザービット (60)
- 5 テープ残量の目安 (63)
- 6 END SEARCH/REC レビュー画面切り換えボタン (29)
- 7 パーソナルメニューボタン (36)

静止画を撮影中

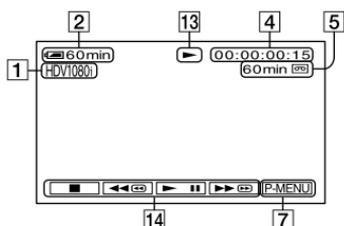


- 8 記録先のフォルダ (50)
- 9 画像サイズ (48)
- 10 画質 ([FINE] または [STD]) (47)
- 11 “メモリースティック デュオ” 表示と記録可能なおよその枚数
- 12 レビューボタン (20)

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に [DATA CODE] として確認できます (62 ページ)。

動画を再生中

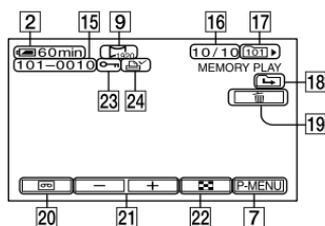


13 テープ走行表示

14 ビデオ操作ボタン(21)

- HDV規格とDVCAM (DV)規格が混在したテープを再生するときは、HDVとDVの信号が切り換わるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れれます。
- HDV規格で記録したテープは、DVCAM (DV)規格のビデオカメラやミニDVCAM (DV)デッキでは再生できません。
- DV規格のテープは、SPモードで記録されている場合のみ、本機で再生できます (DV SP表示が出ます)。LPモードで記録されたテープは再生できません。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードやユーザービットが正常に表示されません。

静止画を再生中



15 データファイル名

16 再生中の画像番号/フォルダ内の合計枚数

17 再生フォルダ (50)

18 前後フォルダ表示

“メモリスティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示される。

⏪ : - で前フォルダへ

⏩ : + で次フォルダへ

⏪ / ⏩ : - / + で前/次フォルダへ

19 画像消去ボタン(72)

20 テープ再生切り換えボタン(21)

21 前の画像/次の画像ボタン(21)

22 インデックス表示ボタン(21)

23 プロテクト(72)

24 プリントマーク(73)

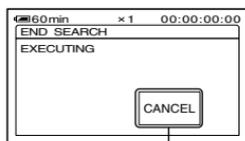
撮影を始めるテープ位置を頭出しする

POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください(20ページ)。

最後に録画した場面を頭出しする (エンドサーチ)

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは動きません。

 →  をタッチする。



中止するには
ここをタッチ

最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく動かない場合があります。
- メニューからも[END SEARCH]操作できます。電源ランプの位置が「PLAY/EDIT」のときは、パーソナルメニュー (36ページ)にショートカットがあります。

テープを停止した場面を確認する (レックレビュー)

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。

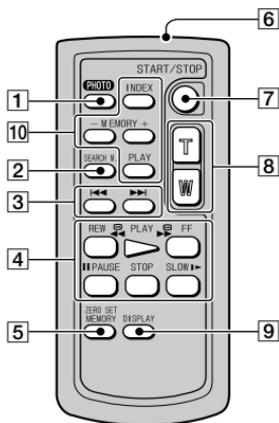
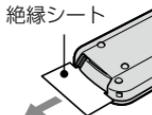
 →  をタッチする。



停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- 1 PHOTO ボタン(20ページ)
押したときの画像が静止画として記録されます。
- 2 SEARCH 選択ボタン(30ページ)
- 3 ◀▶ ボタン
- 4 ビデオ操作ボタン(REW、PLAY、FF、PAUSE、STOP、SLOW)
(21ページ)
- 5 ZERO SET MEMORY ボタン
本機では無効なボタンです。
- 6 リモコン発光部
- 7 REC START/STOP ボタン
(20ページ)
- 8 ZOOM ボタン(22、24ページ)
- 9 DISPLAY ボタン(14ページ)
- 10 MEMORY 操作ボタン(INDEX ボタン、-/+ ボタン、MEMORY PLAYBACK ボタン) (21ページ)

- 本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください(25ページ)。
- 電池交換については、111ページをご覧ください。

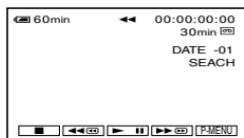
撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)

撮影日の変わり目を頭出しできます。

1 POWER スイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 サーチ選択ボタン 2 を押す。

3 ◀◀ (前の日付)/▶▶ (後の日付) ボタン 3 を押して頭出しする。



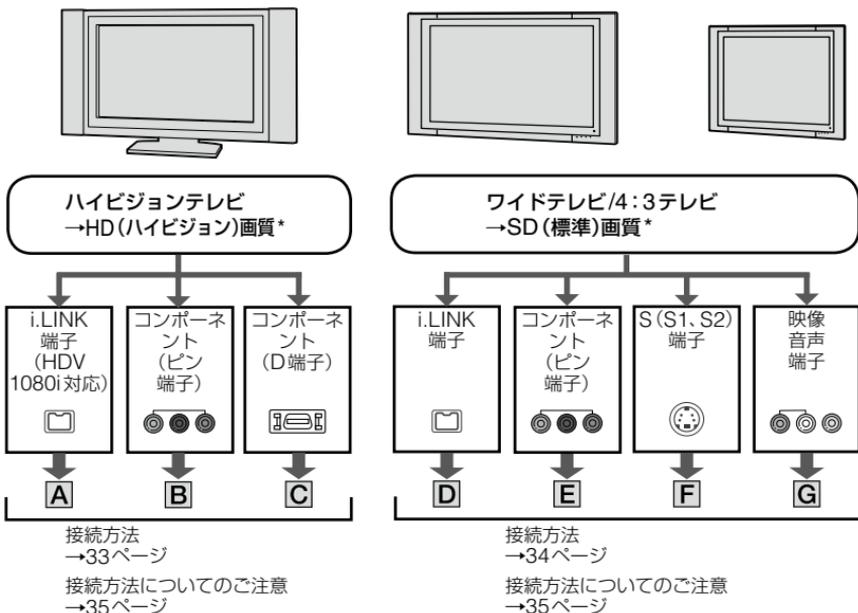
日付サーチを中止するには
STOP ボタン 4 を押す。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(9ページ)。また、接続についてのご注意(35ページ)やつなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

お使いのテレビの種類と付いている端子から、接続方法を選ぶ。

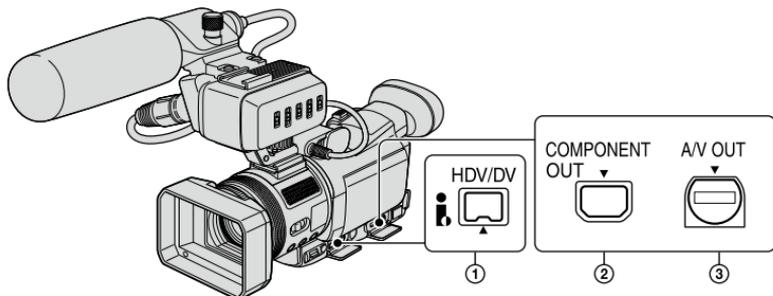


• 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから[VCR HDV/DV]や[i.LINK CONV]の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。

* DVCAM (DV) 規格で撮影した画像はどの接続でもSD (標準)画質で再生されます。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

A

① i.LINKケーブル(別売り)

i.LINK

STANDARD SET
[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)
[i.LINK CONV]
→ [OFF] (59ページ)

B

② コンポーネントビデオケーブル(付属)

③ AV接続ケーブル(付属)

コンポーネント映像入力

(緑) Y
(青) P_B/C_B
(赤) P_R/C_R

(赤) 音声
(白) 映像
(黄) 映像

STANDARD SET
[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)
[COMPONENT] *
(58ページ)

S (S1, S2) 映像端子と映像端子(黄色)はつながないでください。

C

② D端子コンポーネントビデオケーブル(VMC-30VD (別売り))

③ AV接続ケーブル(付属)

コンポーネント映像入力(D3/D4)

(赤) 音声
(白) 映像
(黄) 映像

STANDARD SET
[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)
[COMPONENT] *
(58ページ)

S (S1, S2) 映像端子と映像端子(黄色)はつながないでください。

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

→: 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

D

① i.LINKケーブル(別売り)

i.LINK

STANDARD SET

[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)

[i.LINK CONV]
→ [ON (HDV → DV)] (59ページ)

[DOWN CONVERT] * (59ページ)

E

② コンポーネントビデオケーブル(付属)

コンポーネント映像入力

③ AV接続ケーブル(付属)

(赤) 音声

(白) 映像

(黄) 映像

S (S1, S2) 映像端子と映像端子(黄色)はつながないでください。

STANDARD SET

[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)

[COMPONENT]
→ [480i] (58ページ)

[DOWN CONVERT] * (59ページ)

F

③ AV接続ケーブル(付属)

Sビデオ

(赤) 音声

(白) 映像

(黄) 映像

映像端子(黄色)はつながないでください。

STANDARD SET

[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)

[DOWN CONVERT] * (59ページ)

G

③ AV接続ケーブル(付属)

(赤) 音声

(白) 映像

(黄) 映像

S (S1, S2) 映像端子はつながないでください。

STANDARD SET

[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (55ページ)

[DOWN CONVERT] * (59ページ)

接続についてのご注意

接続方法	ご注意
A	<ul style="list-style-type: none"> HDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビのメーカーにお問い合わせください。対応する機種の情報については、102ページをご覧ください。 テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
B	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントケーブル(付属)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出すにはAV接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、コンポーネント出力端子から出力することはできません。
C	<ul style="list-style-type: none"> D端子コンポーネントケーブル(別売り)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出すにはAV接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、コンポーネント出力端子から出力することはできません。
D	<ul style="list-style-type: none"> テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
E	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントケーブル(付属)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出すにはAV接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、コンポーネント出力端子から出力することはできません。
F	<ul style="list-style-type: none"> S(S1、S2)映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出すにはAV接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。 AV接続ケーブル(接続 G)に比べ、画像をより忠実に再現できます。 本機はS1映像端子対応のため、つなく端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。
G	

- i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、コンポーネントビデオ端子→S(S1、S2)映像端子→映像/音声端子の順で優先されます。
- i.LINKについて詳しくは108ページをご覧ください。

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて[DOWN CONVERT]を変更してください(59ページ)。

- DVCAM(DV)規格で記録したテープをワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に **[WIDE SELECT]** を[4:3]に設定してください(56ページ)。

ビデオがテレビにつながっているときは

ビデオの入力端子によって67ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。モノラル音声で聞くときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

メニューの使いかた

このページ以降のメニューは、下記の方法で操作してください。

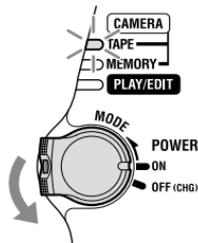
1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返すらずらして、ランプを点灯させる。

「CAMERA-TAPE」ランプ:  テープの設定

「CAMERA-MEMORY」ランプ:

 “メモリースティック デュオ”の設定

「PLAY/EDIT」ランプ: 見る/編集の設定



2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

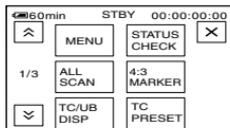
灰色に表示されるメニューは、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが、登録されています。

- ・パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます(65ページ)。

① [P-MENU]をタッチする。



② 希望の項目をタッチする。

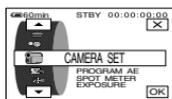
画面にないときは、/をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にし、[OK]をタッチする。

■ メニュー項目を使うときは

パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

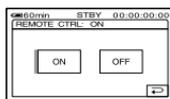
①



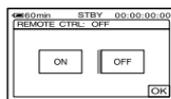
②



③



④



① [P-MENU] → [MENU]の順にタッチする。

メニューインデックス画面が表示される。

② 設定するメニューを選ぶ。

/をタッチして選び、[OK]をタッチして決定する。(手順③も同様の操作です。)

③ 設定する項目を選ぶ。

- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。

設定し終わったら、**[OK]**→**[X]** (閉じる)の順にタッチして、MENU画面を消す。

設定を変更しないで戻るときは、**[←]**をタッチする。

ランプ点灯位置: TAPE MEMORY PLAY/EDIT

CAMERA SET メニュー (41ページ)

PROGRAM AE	●	●	—
SPOT METER	●	●	—
EXPOSURE	●	●	—
WHITE BAL.	●	●	—
SHARPNESS	●	●	—
SHUTTR SPEED	●	—	—
AUTO SHUTTER	●	—	—
AE SHIFT	●	●	—
CAMERA COLOR	●	●	—
CINEMATONE γ	●	—	—
CINEFRAME	●	—	—
WB SHIFT	●	●	—
ATW SENS	●	●	—
BLACK STRTCH	●	—	—
SPOT FOCUS	●	●	—
PEAKING	●	●	—
FLASH SET	—	●	—
SUPER NS	●	—	—
NS LIGHT	●	●	—
COLOR SLOW S	●	—	—
ZEBRA	●	●	—
HISTOGRAM	●	●	—
SELF-TIMER	●	●	—
DIGITAL ZOOM	●	—	—
STEADYSHOT	●	—	—
CONV.LENS	●	—	—
SETUP DVCAM DV 	●	—	—
FULL SCAN	●	—	—
EXPOSURE LEVER	●	●	—

MEMORY SET メニュー (47ページ)

STILL SET	—	●	●
 ALL ERASE	—	—	●
 FORMAT	—	●	●
FILE NO.	—	●	●
NEW FOLDER	—	●	●

ランプ点灯位置:

TAPE

MEMORY

PLAY/EDIT

REC FOLDER

-

●

●

PB FOLDER

-

-

●

 **PICT.APPLI. メニュー** (50ページ)

FADER

●

-

-

SLIDE SHOW

-

-

●

D. EFFECT

●

-

●

PICT. EFFECT

●

-

●

INT.REC-STL

-

●

-

SHOT TRANS

●

-

-

PictBridge PRINT

-

-

●

 **EDIT/PLAY メニュー** (54ページ) VAR. SPD PB

-

-

●

 REC CTRL

-

-

●

END SEARCH

●

-

●

 **STANDARD SET メニュー** (55ページ)

VCR HDV/DV

-

-

●

REC FORMAT

●

-

-

DV SET **DVCAM DV SP**

●

-

●

VOLUME

●

●

●

AUDIO CH SEL

-

-

●

MIC NR

●

-

-

MIC LEVEL

●

-

-

EXT SUR MIC

●

-

-

XLR SET

●

-

-

LCD/VF SET

●

●

●

COMPONENT

●

●

●

i.LINK CONV

●

-

●

DOWN CONVERT

●

-

●

USB SELECT

-

-

●

DISP GUIDE

●

●

●

STATUS CHECK

●

-

●

TC/UB SET

●

-

●

MARKER SET

●

●

-

COLOR BAR

●

-

-

DATA CODE

-

-

●

 REMAINING

●

-

●

REMOTE CTRL

●

●

●

メニューで設定を変更する

メニュー一覧(つづき)

ランプ点灯位置: TAPE MEMORY PLAY/EDIT

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT
REC LAMP	●	●	—
BEEP	●	●	●
DISP OUTPUT	●	●	●
MENU ROTATE	●	●	●
CALIBRATION	—	—	●
DATE REC	●	—	—
QUICK REC HDV1080i	●	—	—
ASSIGN BTN	●	●	●

TIME/LANGU. メニュー (64ページ)

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT
CLOCK SET	●	●	●
WORLD TIME	●	●	●
LANGUAGE	●	●	●

CAMERA SET メニュー

撮影状況に合わせるための設定 (SPOT METER/WHITE BAL./STEADYSHOT など)

▶ は、お買い上げ時の設定。
() 内の表示が画面に出ます。

操作方法は 36 ページをご覧ください。

PROGRAM AE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。あらかじめ AUTO LOCK スイッチを「OFF」にしておいてください (23 ページ)。

▶ AUTO

プログラム AE を使わずに、自動的に効果的な画像になる。

SPOTLIGHT* (📍)

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



PORTRAIT (👤)

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



BEACH & SKI* (🏖️)

照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰にならなくする。



SUNSET & MOON** (🌅)

夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。



LANDSCAPE** (🏞️)

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

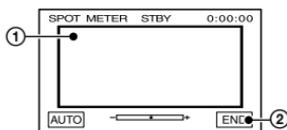


* は近くのものにピントが合わないよう設定されます。

** は遠景のみにピントが合うよう設定されます。

SPOT METER (フレキシブルスポット測光)

被写体が最適明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。あらかじめ AUTO LOCK スイッチを「OFF」にしておいてください (23 ページ)。



① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチ。

←→ が表示されます。

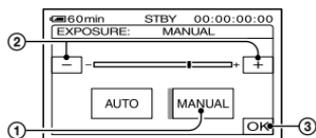
② [END] をタッチ。

自動調節に戻すには、[AUTO] → [END] をタッチ。

• フレキシブルスポット測光中は、[EXPOSURE] は自動的に [MANUAL] になります。

EXPOSURE

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く写るのを防げます。あらかじめAUTO LOCKスイッチを「OFF」にしておいてください(23ページ)。



- ① [MANUAL]をタッチ。
- ② \ominus / \oplus で明るさ調節。
- ③ [OK]をタッチ。

\longleftrightarrow が表示されます。

自動調節に戻すには、[AUTO]→[OK]をタッチ。

- [EXPOSURE]を割り当てたEXPOSURE/VOLレバーでも調節できます(22ページ)。

WHITE BAL. (ホワイトバランス)

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。あらかじめAUTO LOCKスイッチを「OFF」にしておいてください(23ページ)。

▶ AUTO

自動調節される。

OUTDOOR (☀)

以下の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

INDOOR (☾)

以下の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所

- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ONE PUSH (👉)

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

- ① [ONE PUSH]をタッチ。
- ② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱい映す。
- ③ [👉]をタッチ。

👉が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

[ONE PUSH WB]を割り当てたASSIGNボタンからでも調節できます(64ページ)。

- 👉の速い点滅中は、白い物を映し続けてください。
- 👉の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- [OK]をタッチ後も👉が点滅するとき、[AUTO]にしてください。

- [AUTO]でバッテリーを交換したときは、白っぽい被写体に向けて[AUTO]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ONE PUSH]設定中に、[PROGRAM AE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ONE PUSH]の手順を行ってください。
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[AUTO]または[ONE PUSH]の手順で色合いを調節してください。

SHARPNESS

\ominus / \oplus で画像輪郭をやわらかくするか、くっきりさせるかを調節して撮影できます。お買い上げ時の設定以外にすると、 \square が表示されます。



やわらかな画像に \longleftrightarrow くっきりした画像に

CINEFRAME24

映画で使用されている24コマの雰囲気
で撮影する。

- [CINEFRAME30]または[CINEFRAME24]
を選ぶと、シャッタースピードを1/30以下に
設定しても、強制的に1/60に設定されます。

WB SHIFT（ホワイトバランスシ
フト）

[-]/[+]でホワイトバランスをお好み
に合わせて調節できます。お買い上げ時
の設定以外にすると、**WS**と設定した数値
が表示されます。

- 数値を下げるとう像が青味がかり、数値を上げ
ると赤味がかります。

ATW SENS

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源
下や、屋外の日陰など青みの強い光源下で
のオートホワイトバランスの動作を設定
できます。

▶ INTELLIGENT

シーンの明るさに応じて自然な雰囲気にな
るように自動調節する。

HIGH

赤みや青みが減る。

MIDDLE

[HIGH]と[LOW]の間。

LOW

赤みや青みが増す。

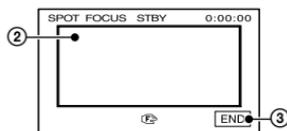
- 晴天時の日向では効果がありません。

BLACK STRTCH

[ON]にすると暗部の γ カーブ特性を立
ち上げ、暗部の階調表現力を増加できます。

SPOT FOCUS

画面中央から外れた被写体を基準にして、
ピントを合わせられます。



- ① FOCUS/ZOOMスイッチを「MANUAL」
にする（23ページ）。
- ② 画面枠内の被写体にタッチ。
- ③ [END]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、FOCUS/
ZOOMスイッチを「AUTO」にする。

PEAKING

画面上に画像の輪郭が強調して表示され
るので、ピントが合わせやすくなります。
ピーキング使用時に表示される輪郭の色
を設定できます。お買い上げ時の設定以
外にすると**PEAKING**が表示されます。

▶ OFF

設定しない。

WHITE

輪郭の色を白くする。

RED

輪郭の色を赤くする。

YELLOW

輪郭の色を黄色にする。

- ピーキングはテープに記録されません。
- [PEAKING]使用中に[ZEBRA]を設定すると
[PEAKING]が解除されます。

FLASH SET

■ FLASH MODE

▶ ON

フラッシュ（別売り）が周囲の明るさに
関わらず発光する。

ON

フラッシュ（別売り）が周囲の明るさにかかわらず発光し、発光時は撮影前に予備発光して目が赤く映ることを抑制する。

AUTO

フラッシュ（別売り）が自動的に発光する。

AUTO

フラッシュ（別売り）が自動的に発光し、発光時は撮影前に予備発光して目が赤く映ることを抑制する。

FLASH LEVEL**HIGH (++)**

発光量が増える。

▶ NORMAL (+)

標準発光量。

LOW (--)

発光量が減る。

**SUPER NS
(Super NightShot)**

あらかじめ、NIGHTSHOTスイッチ（23ページ）を「ON」にした状態で、「ON」に設定すると、暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。Sと「SUPER NIGHTSHOT」が表示されます。

通常設定に戻すには、NIGHTSHOTスイッチを「OFF」にする。

- 明るい場所で使うと、故障の原因となります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- 付属のレンズカバー付きフードやコンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピント合わせしてください（23ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

NS LIGHT (NightShotライト)

[ON]（お買い上げ時の設定）のとき、NightShot（23ページ）と[SUPER NS]（45ページ）撮影時に、赤外線（不可視）を発光する[NS LIGHT]でよりはっきりした画像を撮影できます。

- 指などで赤外線発光部を覆わないでください。
- 付属のレンズカバー付きフードやコンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

**COLOR SLOW S
(Color Slow Shutter)**

[ON]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。

と[COLOR SLOW SHUTTER]が表示されます。

解除するには、[OFF]をタッチ。

- ピントが合いにくいときは、手動でピント合わせしてください（23ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

ZEBRA

明るさを調節するときの目安にするると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶ OFF

表示しない。

70

輝度レベルが約70IREの部分に表示。

100

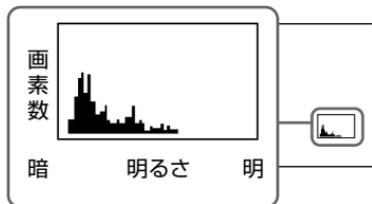
輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示。

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ZEBRA]使用中に[PEAKING]を設定すると[ZEBRA]が解除されます。

HISTOGRAM

[ON]に設定すると、ヒストグラム(画像の明るさの分布を表した図(グラフ))が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ヒストグラムを見ながら、[EXPOSURE]や[AE SHIFT]を調節することができます。ヒストグラムは記録されません。また、[HISTOGRAM]を割り当てたASSIGNボタンからでも設定できます(25ページ)。



- デジタルズーム使用時は \odot が表示され、ヒストグラムは表示されません。
- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。

SELF-TIMER

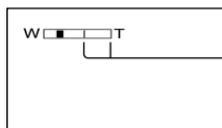
約10秒後に撮影を開始できます。

- ① [P-MENU] → [MENU] → [SELF-TIMER] → [ON] → [OK]の順にタッチ。
 \odot が表示される。
 - ② 動画のときは、REC START/STOPボタン、静止画のときはPHOTOボタンを押す。
 秒読みを停止するには[RESET]をタッチ。
 解除するには、手順①で[OFF]をタッチ。
- リモコンでも使えます(30ページ)。
 - 電源ランプの位置が「CAMERA-MEMORY」

のときは、[P-MENU](36ページ)にショートカットがあります。

DIGITAL ZOOM

テープ撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。



ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。

▶ OFF

10倍光学ズームのみ

20×

10倍光学ズーム～最大20倍までのデジタルズーム

40×

10倍光学ズーム～最大40倍までのデジタルズーム

STEADYSHOT

お買い上げ時の設定は[ON]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF](\odot)にすると自然な画像になります。また、[STEADYSHOT]を割り当てたASSIGNボタンからでも設定できます(25ページ)。

CONV. LENS

コンバージョンレンズ(別売り)を使用するときに設定すると、それぞれのレンズに最適な手ぶれ補正を使って撮影できます。

▶ OFF

コンバージョンレンズ(別売り)を使用しない。

WIDE CONV. (W)

ワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

TELE CONV. (T)

テレコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

SETUP DVCAM DV

▶0%

セットアップレベル0%のシステムで記録する。

7.5%

セットアップレベル7.5%のシステムで記録する。

- [REC FORMAT]が[HDV1080i]のときは自動的に[0%]になります。

FULL SCAN

[STEADYSHOT]の設定が[OFF]のとき、ズーム位置によらず、常に全画素で撮影することができます。

▶OFF

設定しない。

ON

全画素読み出しで撮影する。

EXPOSURE LEVER

EXPOSURE/VOLレバー、EXPOSUREボタンで操作、設定する機能を割り当てることができます(22ページ)。

▶EXPOSURE

EXPOSURE/VOLレバーで[EXPOSURE]を操作する。

AE SHIFT

EXPOSURE/VOLレバーで[AE SHIFT]を操作する。

MEMORY SET

メニュー

“メモリスティック デュオ”に関する設定(BURST/QUALITY/IMAGE SIZE/ALL ERASE/NEW FOLDERなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は36ページをご覧ください。

STILL SET

■ BURST

PHOTO ボタンを押したときに、静止画を連写できます。

▶OFF

連写しない。

NORMAL (□)

約0.5秒間隔で3枚(画像サイズは1920×1440)、5枚(画像サイズは1440×1080)から最大25枚(画像サイズは640×480)までの静止画を連写する。PHOTO ボタンを押したままにすると、最大枚数まで連写する。

EXP.BRKTG (BRK)

約0.5秒間隔に、露出を自動で変えた3枚の画像を連写する。3枚を見比べて明るさが最適な画像を選べる。

- 連写中はフラッシュは発光しません。
- セルフタイマーやリモコンで撮影時は、最大枚数まで連写します。
- “メモリスティック デュオ”の残量が3枚より少ないと、[EXP.BRKTG]に設定できません。
- ワイドのときは3枚の静止画(画像サイズは1920×1080)を連写できます。

■ QUALITY

▶FINE (FINE)

高画質で記録する。

STANDARD (STD)

標準の画質で記録する。

■ IMAGE SIZE

▶ 1920 × 1440 (L₁₉₂₀)

鮮明な画像を撮影する。

1920 × 1080 (L₁₉₂₀)

鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

1440 × 1080 (L₁₄₄₀)

比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

640 × 480 (L₆₄₀)

たくさんの枚数を撮影する。

- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。

“メモリスティック デュオ”の容量(MB)と撮影可能枚数(枚)

POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のとき

	1920 × 1440 L ₁₉₂₀	1920 × 1080 L ₁₉₂₀	1440 × 1080 L ₁₄₄₀	640 × 480 L ₆₄₀
16MB	11	14	19	96
	26	34	43	240
32MB	22	29	39	190
	54	69	88	485
64MB	45	59	78	390
	105	135	175	980
128MB	91	115	155	780
	215	280	355	1970
256MB	165	215	280	1400
	395	500	640	3550
512MB	335	435	570	2850
	800	1000	1300	7200
1GB	680	890	1150	5900
	1600	2100	2650	14500
2GB	1400	1800	2400	12000
	3350	4300	5500	30000

POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」または「PLAY/EDIT」のとき*

	1440 × 810 L ₁₄₄₀	1080 × 810 L ₁₀₈₀	640 × 480 L ₆₄₀	640 × 360 L ₆₄₀
16MB	25	34	96	115
	60	80	240	240
32MB	51	69	190	240
	120	160	485	485
64MB	100	135	390	490
	240	325	980	980
128MB	205	280	780	980
	490	650	1970	1970
256MB	370	500	1400	1750
	890	1150	3550	3550
512MB	760	1000	2850	3600
	1800	2400	7200	7200
1GB	1550	2100	5900	7300
	3650	4900	14500	14500
2GB	3150	4300	12000	15000
	7500	10000	30000	30000

* 画像サイズは以下の通り固定されます。

— POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」で撮影画像がHDV規格、またはDVCAM(DV)規格(16:9)のときは1440 × 810、DVCAM(DV)規格(4:3)のときは1080 × 810。

— POWERスイッチが「PLAY/EDIT」で再生画像がHDV規格のときは1440 × 810、DVCAM(DV)規格(16:9)のときは640 × 360、DVCAM(DV)規格(4:3)のときは640 × 480。

- 上段は画質が[FINE]のとき、下段は画質が[STANDARD]のときの枚数です。
- ソニー製「メモリスティック デュオ」使用時。枚数は、撮影環境によって変わります。

画像1枚のおよその容量(kB)

4:3のとき

1920× 1440	1440× 1080	1080× 810	640× 480
1380	800	450	150
580	350	190	60

16:9のとき

1920× 1080	1440× 810	640× 360
1060	600	130
450	260	60

- 上段は画質が[FINE]のとき、下段は画質が[STANDARD]のときの容量です。

ALL ERASE

プロテクトのかかっていない“メモリスティック デュオ”内または選択フォルダ内の全画像を消します。

- ① [ALL ERASE]か[CURRENT FOLDER]を選ぶ。

[ALL ERASE]: “メモリスティック デュオ”内のすべての画像を消去。

[CURRENT FOLDER]: 選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

- ② [YES]を2回→をタッチ。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリスティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- Erasing all data... (全消去中です) が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し

FORMAT

“メモリスティック デュオ”はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

フォーマットを実行するには、[YES]を2回→をタッチ。フォーマットされて、すべての画像が消去されます。

- FORMATTING... (フォーマット中です) が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

FILE NO.

▶ SERIES

“メモリスティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

RESET

“メモリスティック デュオ”ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

NEW FOLDER

“メモリスティック デュオ”内に、新フォルダ(102MSDCF～999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダが9999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

[YES]→をタッチ。

- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。“メモリスティック デュオ”をフォーマットするか(49ページ)、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、“メモリスティック デュオ”の残量が減ることもあります。

PICT.APPLI.メニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能(SLIDE SHOW/PICT.EFFECTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は36ページをご覧ください。

REC FOLDER

▲/▼で記録するフォルダを選んで
OKをタッチ。

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

PB FOLDER

▲/▼で再生するフォルダを選んで
OKをタッチ。

FADER

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

- ① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使用したい効果を選んでOKをタッチ。
- ② REC START/STOP ボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには①で[OFF]をタッチ。

1度 REC START/STOP ボタンを押すと、設定は解除されず。



WHITE FADER



BLACK FADER



MOSAIC FADER



MONOTONE

フェードイン時は白黒→カラーに、
フェードアウト時はカラー→白黒になる。

SLIDE SHOW

“メモリスティック デュオ”内の全画像、またはフォルダ内の全画像を自動再生(スライドショー)できます。

- ① [SET] → [PB FOLDER] をタッチ。
- ② [ALL FILES (📁)]か[CURRENT FOLDER (📁)]を選び、[OK]をタッチ。
[CURRENT FOLDER (📁)]を選ぶと、[PB FOLDER] (50ページ)で選んだフォルダ内の画像を自動再生する。
- ③ [REPEAT] をタッチ。
- ④ [ON]または[OFF]を選び、[OK]をタッチ。
[ON] (🔄)に設定すると、スライドショーを繰り返し、[OFF]に設定すると、スライドショーを1度だけで終了する。
- ⑤ [END] → [START] をタッチ。

中止するには[END]を、一時停止するには[PAUSE]をタッチ。

- [START]をタッチする前に、[-]/[+]でスライドショーを始める画像を選べます。

D.EFFECT (デジタルエフェクト)

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

- ① 設定する効果を選ぶ。
- ② [-]/[+]で効果を調節して[OK]をタッチ。
[STILL]では、[STILL]をタッチしたときの画像が静止画として記憶される。

効果	調節内容
スチル	背景の静止画の写り具合
フラッシュ	フラッシュの間隔
トレイル	残像時間
オールドムービー*	調節不要

* 撮影時のみ使えます。

- ③ [OK]をタッチ。
[👆]が表示される。
解除するには手順①で[OFF]をタッチ。

STILL

記憶済みの静止画に、動画を重ねて撮影する。



FLASH (フラッシュモーション)

コマ送り撮影をする。

TRAIL

残像が尾を引くように撮影する。

OLD MOVIE

昔の映画のようなセピア色の画像にする。

- 効果を加えて再生している画像を本機でテープに記録することはできません。
- 外部入力している画像に、効果を加えることはできません。また、再生画像にデジタルエフェクトを加えても、i.LINKから、エフェクトがかかっていない画像が出力されます。
- 効果を加えた画像を、“メモリスティック デュオ”に取り込んだり(71ページ)、他のビデオに録画したり(67ページ)できます。

PICT.EFFECT (ピクチャーエフェクト)

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。[👆]が表示されます。

- ▶ OFF
ピクチャーエフェクトを使わない。

SKINTON DETAIL

肌をなめらかに美しく見せます。*

NEG.ART

ネガフィルムのような画像。



SEPIA

古い写真のような画像。

B&W(モノトーン)

白黒の画像。

SOLARIZE

明暗がはっきりして、イラストのような画像。



PASTEL

淡い色の画像。*



MOSAIC

タイルを組み合わせたような画像。*



* 撮影時のみ設定できます。

- 逆光補正を設定しているとき、[SKNTON DETAIL]は設定できません。また、[SKNTON DETAIL]を設定した状態で逆光補正を設定すると、[SKNTON DETAIL]は解除されます。
- 外部入力している画像に効果追加はできません。また、再生画像にピクチャーエフェクトを加えても、i.LINK端子からは、エフェクトがかかっていない画像が出力されます。
- 効果を加えた画像を他のビデオに録画することもできます(67ページ)。

INT.REC-STL (インターバル静止画記録)

一定時間ごとに「メモリースティックデュオ」へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを定点観測撮影時に便利です。



① [SET]→希望のウェイトタイム(1分、5分、10分)→[OK]→[ON]→[OK]→[X]をタッチ。

② PHOTO ボタンを深く押す。

☺■が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。

解除するには①で[OFF]にする。

SHOT TRANS

ズーム、フォーカスの設定をあらかじめ登録し、登録した設定へなめらかに遷移(ショットトランジション)することができます。



登録する

フォーカス(23ページ)、ズーム(22ページ)を好みの設定にしてから、[STORE-A]を押す。[SHOT-A]が点滅して登録される。同様に[STORE-B]も登録する。

実行する

[NEXT]→[EXEC-A]または[EXEC-B]を押すと、登録した設定に遷移する。登録し直すには[BACK]を、終了するには[END]をタッチ。

実行画面で[SET]をタッチすると、遷移時間、遷移カーブ、録画連動を選択することや、スタートタイマーを使うことができる。

TRANS TIME

遷移時間(2秒～15秒まで)を選ぶ(お買い上げ時の設定は4秒)。

■ TRANS CURVE

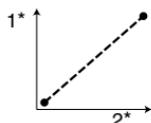
遷移カーブを選ぶ。各モードのトランジションカーブは図のように遷移します。

1*: パラメーター量

2*: 時間の遷移

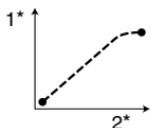
LINEAR

直線的に遷移する。



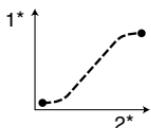
▶ SOFT STOP

終了地点付近をゆっくり遷移する。



SOFT TRANS

開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移する。



■ START TIMER

ショットトランジションを開始するタイマーを設定する。

▶ OFF

タイマーを使わない。

5sec

5秒後に実行を開始する。

10sec

10秒後に実行を開始する。

20sec

20秒後に実行を開始する。

■ REC LINK

▶ OFF

録画開始と同時に遷移させない。

SHOT-A

録画開始と同時にSHOT-Aに遷移させる。

SHOT-B

録画開始と同時にSHOT-Bに遷移させる。

- 撮影中は[SHOT TRANS]は選択できません。
- [SHOT TRANS]を登録すると、[WHITE BAL.]の設定も登録されます。
- [SHOT TRANS]中は画角が変わります。
- [STEADYSHOT]がきかなくなるため、三脚を使うことをおすすめします。

PictBridge PRINT

73ページをご覧ください。

EDIT/PLAY **×**

ニュー

編集/変速再生の設定 (VAR.SPД PB/
END SEARCH など)

▶ は、お買い上げ時の設定。
() 内の表示が画面に出ます。

操作方法は36ページをご覧ください。

VAR.SPД PB (変速再生)

テープの動画再生時に変速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチ。

再生方法	タッチするボタン
------	----------

逆方向に再生*  (コマ送り)

スロー再生** 
逆方向には：
 (コマ送り) →
 DVCAM DV 

コマ送り 一時停止中に  (コマ
送り)
逆方向へはコマ送り
中に：
 (コマ送り) DVCAM
DV 

* 画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。

**  HDV/DV 端子 (i.LINK) から出力される
画像は、なめらかにスロー再生されませ
ん。

②  →  をタッチ。

通常再生に戻すには、 (再生/一時停
止) を2回タッチ (「コマ送り」は1回)。

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。
- HDV 規格の場合、一時停止や変速再生している映像を  HDV/DV 端子 (i.LINK) から出力することはできません。
- HDV 規格のテープでは、以下のとき画面が乱れます。
 - ピクチャーサーチ中
 - 逆方向再生中

REC CTRL

70ページをご覧ください。

END SEARCH

EXEC

最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

CANCEL

エンドサーチを中止する。



STANDARD SET

メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定 (REC MODE/AUDIO MODE/LCD/VF SET/DISP OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は36ページをご覧ください。

VCR HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は [AUTO] に設定してください。

i.LINK ケーブル (別売り) 接続時は、i.HDV/DV 端子 (i.LINK) から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。

▶ AUTO

テープ再生時、自動で HDV/DVCAM (DV) 規格の信号を切り換えて、再生する。

i.LINK 接続時は、自動で HDV/DVCAM (DV) 規格の信号に切り換えて、i.HDV/DV 端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。

HDV

テープ再生時、HDV 規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK 接続時は HDV 規格の信号のみを、i.HDV/DV 端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続する。

DV

テープ再生時、DVCAM (DV) 規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK 接続時は DVCAM (DV) 規格の信号のみを、i.HDV/DV 端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続する。

- 設定を変える前に、必ず i.LINK ケーブル (別売り) を抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- [AUTO] を選ぶと、HDV 規格と DVCAM (DV) 規格の信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が続切れます。

- [i.LINK CONV] が [ON] になっているときは、以下の信号が出力されます。
 - [AUTO] のときは、HDV 信号は DVCAM (DV) に変換され、DV 信号はそのまま出力されます。
 - [HDV] のときは、HDV 信号は DVCAM (DV) に変換され、DV 信号の部分は出力されません。
 - [DV] のときは、DV 信号はそのまま出力され、HDV 信号の部分は出力されません。

REC FORMAT

撮影する録画規格を選択できます。

▶ HDV1080i (HDV1080i)

HDV 規格の 1080i 方式で撮影する。

DV (DVCAM DV)

DVCAM (DV) 規格で撮影する。

DVCAM (DV) 規格で撮影するときは、

 REC MODE も設定する。

- 撮影中の画像を i.LINK 出力するときは、[i.LINK CONV] もあわせて設定してください。

DV SET

[REC FORMAT] が [DV] のときのみに有効です。

REC MODE (録画モード)

▶ DVCAM (DVCAM)

DVCAM 方式で録画する。

DV SP (DV)

DV 方式の SP (標準) モードで録画する。

DVCAM 方式に比べ、長時間録画する。

- DV SP モードで本機で録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が続切れたりすることがあります。
- テープの途中で DVCAM と DV SP モードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

■ [P] WIDE SELECT

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ 16:9 WIDE

ワイドテレビ画面(16:9)いっぱいに映るように撮影する。

4:3 (4:3)

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

[16:9 WIDE]設定時に液晶画面 / ファインダーで見たとき



4:3テレビで再生したとき*



ワイドテレビで再生したとき



* 接続するテレビによって、再生時の表示のされ方が異なります。

- ワイド信号非対応の4:3テレビでは、[16:9 WIDE]で撮影した画像の天地はそのままで水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビ画面いっぱいに映るようにするには、[4:3]に設定して撮影してください。

■ [P] AUDIO MODE

▶ FS32K (ns32k)

テープへ12ビット(4つのステレオ音声)で記録する。

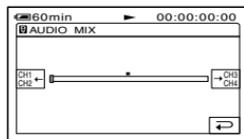
FS48K (ns48k)

テープへ16ビット(高音質で2つのステレオ音声)で記録する。

- HDV規格のときは、自動的に[FS48K]で記録されます。
- DVCAM規格の条件を満たしているときは**NS**が表示されません(103ページ)。

■ [P] AUDIO MIX

他機でアフレコしたテープの音声を再生時に確認できます。



[CH1 CH2] / [CH3 CH4] で撮影時の音声(CH1、CH2)とアフレコした音声(CH3、CH4)の音声バランスを調整し、[OK]をタッチ。

- お買い上げ時は、CH1、CH2の音のみが出る設定になっています。

VOLUME

[−] / [+] をタッチして調節します。EXPOSURE/VOLレバーでも調節できます(24ページ)。

AUDIO CH SEL

▶ CH1, CH2

CH1、CH2の音をそれぞれのチャンネルで再生する。

CH1

CH1の音をチャンネル1/2で再生する。

CH2

CH2の音をチャンネル1/2で再生する。

- [CH1, CH2]を選択して、本機のスピーカーで再生した場合は、CH1+CH2の音になります。

MIC NR

▶ ON

マイクからはいるノイズを低減する。

OFF

この機能を解除する。

MIC LEVEL

記録するときの音量を調節できます。

▶ AUTO

自動で調節する。

MANUAL

撮影またはスタンバイ中に、**[-]/[+]**をタッチして音量を調節する。マイク音レベルを表したバーが表示される。右にいくほどマイク音レベルが上がる。お買い上げ時以外の設定にすると、入力レベルメーターが表示される。

- ヘッドホンをつけて、レベルを確認しながら操作することをおすすめします。
- 本機はリミッター回路を内蔵しているため、[MANUAL]を選択し、マイク音レベルを上げすぎた場合でも、自動的にゆがみを軽減した録音ができます。入力レベルメーターが頻繁に0dBまで到達しないように調整してください。
- 音声設定の詳しい情報を確認するときは[STATUS CHECK]を選んでください(60ページ)。自動調節時のマイク音レベルを確認することもできます。

EXT SUR MIC

▶ WIDE STEREO ((••))

マイクロホン(別売り)を取り付けて臨場感のある2chの音声を記録する。

STEREO

通常のステレオ音声で記録する。

- [WIDE STEREO]で記録するときには、別売りのマイクロホンECM-HQP1などの対応アクセサリーが必要です。
- マイクロホンが取り付けられていないときには、設定に関わらず[STEREO]で記録されます。

XLR SET

外部マイク使用時に設定できます。

■ AU.CH1 LEVEL

▶ AUTO

自動で調節する。

MANUAL

[-]/[+]をタッチしてCH1の録音レベルを調節する。

■ AU.CH2 LEVEL

▶ AUTO

自動で調節する。

MANUAL

[-]/[+]をタッチしてCH2の録音レベルを調節する。

- お買い上げ時以外の設定にすると、入力レベルメーターが表示されます。

■ AU.MAN GAIN

外部マイク使用時のチャンネル1、2のオーディオレベルの連動/非連動を切り替えます。

▶ SEPARATE

オーディオレベル非連動にしたいとき(チャンネル1、2を別々の音声として記録したいとき)。

LINKED

オーディオレベル連動にしたいとき(チャンネル1、2をステレオのように1組の音声として記録したいとき)。

[STATUS CHECK]や[AU.CH1 LEVEL]、[AU.CH2 LEVEL]画面に【】が表示されます。

- [AU.CH1 LEVEL]、[AU.CH2 LEVEL]が[MANUAL]のときのみ有効です。
- CH1またはCH2の設定を、[AUTO]または[MANUAL]に変えると、もう一方の設定も自動的に[AUTO]または[MANUAL]に変わります。

LCD/VF SET

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ LCD BRIGHT

液晶画面の明るさを調節できます。

① / で調節する。

② をタッチ。

- 液晶画面バックライトを消すこともできます (13ページ)。

■ LCD BL LEVEL

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定 (標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に [BRIGHT] になります。
- [BRIGHT] を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ LCD COLOR

/ で液晶画面の濃さを調節できます。



■ VF B.LIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定 (標準の明るさ)。

BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に [BRIGHT] になります。
- [BRIGHT] を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VF POWER

▶ AUTO

液晶画面を開いているとき、ファインダーに画像を映さない。

ON

液晶画面を開いているとき、ファインダーにも画像を映す。

- [ON] を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VF COLOR

▶ ON

ビューファインダーをカラーで表示させる。

OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

■ ALLSCAN MODE HDV1080i

[ON] に設定すると、テレビなどでは確認できない画面の周辺部を確認できます。簡易全画面表示中は、画面の周りが黒く表示されます。[OFF] に設定すると、元の画面に戻ります。

- [ALLSCAN MODE] を [ON] にすると、COMPONENT OUT 端子と HDV/DV 端子 (i.LINK) からの HDV 信号以外の出力信号はインターレース出力のレターボックスになります。
- お買い上げ時は [OFF] の設定になっています。

COMPONENT

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i

480i に対応したテレビとつなぐ。

480p/480i

480p に対応したテレビとつなぐ。

▶ 1080i/480i

1080i に対応したテレビとつなぐ。

- [480p/480i]を選択している状態でCOMPONENT出力しているときに、[i.LINK CONV]の設定を[ON (HDV→DV)]にすると、i.LINK端子(i.LINK)から映像を出力することはできません。

i.LINK CONV

POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のときは[REC FORMAT]が[HDV1080i]のときに有効です。POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のときは、[VCR HDV/DV]が[AUTO]か[HDV]のときに有効です。

▶ OFF

[REC FORMAT]と[VCR HDV/DV]の設定に従って、i.LINK端子(i.LINK)から信号を出力する。

ON (HDV→DV)

i.LINK端子(i.LINK)から出力される信号は、常にDVになる。

- i.LINK入力については、[VCR HDV/DV]をご覧ください(55ページ)。
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブル(別売り)を抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

DOWN CONVERT

HDV規格で撮影したテープを再生する際の映像信号出力形式を設定します。

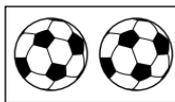
以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480p/480i出力)
- S (S1, S2) VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力
- i.LINK出力([i.LINK CONV]が[ON (HDV→DV)]のとき)

▶ SQUEEZE (スクィーズ)

ワイド対応機器へ出力する。

ワイドテレビ



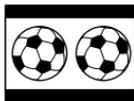
ワイド対応4:3テレビ



LETTER BOX (レターボックス)

ワイドに対応しない機器へ出力する。

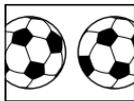
4:3テレビ



EDGE CROP (エッジクロップ)

映像の左右を切り取り、中央部を4:3のアスペクト比で出力する。

4:3テレビ



- **[P] WIDE SELECT**を[16:9 WIDE]にしてDVCAM (DV)規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、**[P] WIDE SELECT**を[4:3]にして撮影してください。

USB SELECT

USBケーブル(付属)で画像をパソコンなどにつないで見たり(76ページ)、PictBridge規格対応のプリンターと接続する(73ページ)ときに使います。

▶ MEMORY STICK

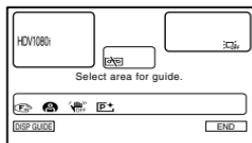
“メモリースティック デュオ”の画像を見る。

PictBridge PRINT

73ページをご覧ください。

DISP GUIDE

画面に出ている表示の意味を簡単に確認できます。



確認したい表示が入っているエリアをタッチすると、表示の意味が一覧で表示される。見つからないときは、**[△]**/**[▽]**で確認したい表示を選ぶ。エリア選択画面に戻るときは**[←]**をタッチ。終了するには**[END]**をタッチ。

- 設定されている内容によって表示項目が異なります。

STATUS CHECK

以下の項目の設定値を確認できます。また、**[STATUS CHECK]**を割り当てたASSIGNボタンからでも設定値を確認できます(25ページ)。

– AUDIO

[P]AUDIO MIXなどの設定(56ページ)。

– OUTPUT

[VCR HDV/DV] (POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のとき)などの設定(55ページ)。

– ASSIGN

ASSIGNボタン(25ページ)とEXPOSURE/VOLレバー(47ページ)に割り当てた設定。

– HOURS METER

本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示する。

OPERATION

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。

DRUM RUN

ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示する。

TAPE RUN

テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示する。

THREADING

カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示する。

TC/UB SET

本機ではタイムコード、ユーザービットの設定ができます。

TC/UB DISP

タイムコードとユーザービットの表示を切り換える。

TC:「00:00:00:00」または「00:00:00:00」
U-BIT:「00 00 00 00」

TC PRESET

タイムコードをプリセットまたはリセットする。

- ① 最初の二桁の数値を**[▲]**/**[▼]**で選び、**[OK]**で決定する。同様に、他の桁を設定する。
- ② 確認画面が表示されるので**[OK]**をタッチ。中止するには手順②で**[CANCEL]**をタッチ。
 - タイムコードをリセット(00:00:00:00)する場合は、手順①で**[RESET]**をタッチします。
 - タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定できます。

UB PRESET

ユーザービットをプリセットまたはリセットする。

- ① 最初の二桁の数値を**[▲]**/**[▼]**で選び、**[OK]**で決定する。同様に他の桁を設定する。
- ② 確認画面が表示されるので**[OK]**をタッチ。中止するには手順②で**[CANCEL]**をタッチ。

- ユーザービットをリセット(00 00 00 00)する場合は、手順①で[RESET]をタッチします。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機に対応していない方式のタイムコードを再生すると、タイムコードおよびユーザービットは正常に表示されません。
- HDV規格をi.LINK入力するとき、入力する映像のユーザービットは本機に書き込まれますが、取り込み中に表示することはできません。

■ TC FORMAT

タイムコードの記録方式を設定する。

▶ AUTO

すでにテープに設定されている方式に合わせる。

DF

ドロップフレーム方式で記録する。

NDF

ノンドロップ方式で記録する。

- [AUTO] (お買い上げ時の設定)で新しいカセットに記録を行った場合、記録されるタイムコードは[NDF]になります。
- [AUTO] (お買い上げ時の設定)で、[TC MAKE]を[PRESET]に設定した場合、記録されるタイムコードは、すでに記録されている方式にかかわらず[NDF]になります。

■ TC RUN

タイムコードの歩進モードを設定する。

▶ REC RUN

録画中のみタイムコードが進む。つなぎ撮りすると、タイムコードも自動でつながる。

FREE RUN

録画停止中もタイムコードが進む。
[FREE RUN]に設定すると、すぐにタイムコードの歩進が始まる。

■ TC MAKE

▶ REGENERATE

つなぎ撮り中に、テープに記録させたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[TC RUN]の設定に関わらず、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

PRESET

新たに設定したタイムコードをテープに記録する。

■ UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに、実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのが、ドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものを、ノンドロップフレームと呼びます。

- i.LINK入力時、映像信号がない状態で記録すると、タイムコードが乱れることがあります。
- HDV規格とDVCAM(DV)規格を混在して撮影すると、つなぎ目でタイムコードが初期化されることがあります。
- HDV規格とDVCAM(DV)規格を混在したテープを再生すると、つなぎ目で画像とタイムコードが一致しないことがあります。
- HDV規格記録時は、最大3フレームの誤差が生じることがあります。

- HDV規格で記録されたテープでは、ユーザービットタイムは3フレームおきに表示されません。
- HDVでi.LINK入力するとき、ユーザービットはコピーされますが、[REGENERATE] (テープ上のユーザービットに連続して記録すること)されません。

MARKER SET

表示するマーカーの種類を選べます。選んだマーカーごとに[ON]または[OFF]で表示/非表示を選びます。複数のマーカーを同時に表示することもできます。

- マーカー表示は撮影に影響ありません。

■ CENTER MARKER

画面の中心にマーカーを表示する(センターマーカー)。



■ 4:3 MARKER

4:3に切り出した位置を表示する。



- [4:3]は、DVCAM (DV)規格の4:3画面で撮影しているときは表示されません。

■ SAFETY ZONE

一般的な家庭用テレビで受像できる範囲(80%)を表示する。



■ GUIDEFAME

[ON]にすると、フレームを表示して、被写体が水平・垂直になっているかを確認できる。フレームは記録されません。



- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

- マーカー表示中はアナログ端子から画面表示を出力することはできません。
- すべての設定を[ON]にして同時に表示することもできます。

COLOR BAR

[ON]にするとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。接続したモニターの色を調整するときに便利です。[COLOR BAR]を割り当てたASSIGNボタンからも設定できます(25ページ)。

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示する。

① [SET]→[TYPE1] (お買い上げ時の設定)または[TYPE2]を選び、[OK]をタッチ。

② [ON]または[OFF]を選び、[OK]→[X]をタッチ。

TYPE1

下記のようなカラーバーが表示される。



TYPE2

下記のようなカラーバーが表示される。



DATA CODE

撮影時に自動的に記録された情報(DATA CODE)を再生時に表示できます。

▶ OFF

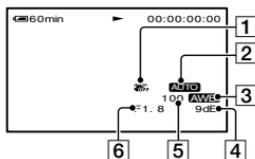
表示しない。

DATE/TIME

日付、時刻を表示。

CAMERA DATA

カメラデータを表示。



- 1 手ぶれ補正*
- 2 明るさ調節*
- 3 ホワイトバランス*
- 4 ゲイン*
- 5 シャッタースピード
- 6 絞り値

* テープ再生時のみ

- “メモリスティック デュオ”の静止画再生時は、露出補正値(0EV)とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- フラッシュを使って撮影した画像は、が表示されます。
- [DATE/TIME]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日付、時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --]と[--:--:--]が表示されます。

REMAINING

▶ AUTO

次のときにテープ残量を約8秒間表示する。

- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」か「CAMERA-TAPE」にしたとき
- (再生/一時停止)をタッチしたとき

ON

テープ残量を常に表示する。

REMOTE CTRL

お買い上げ時の設定は[ON]のため、付属のワイヤレスリモコン(30ページ)が使えます。

- [OFF]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

REC LAMP

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

BEEP

▶ ON

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

OFF

操作音を出さない。

DISP OUTPUT

▶ LCD PANEL

タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

V-OUT/PANEL

画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

MENU ROTATE

▶ NORMAL

をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

OPPOSITE

をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

CALIBRATION

110ページをご覧ください。

DATE REC

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字に影響はありません。

QUICK REC HDV1080i

▶ OFF

ドラム停止状態から録画を再開するとき、開始まで少し時間がかかるが、つなぎ目はきれいに撮れる。

ON

ドラム停止状態から録画を再開するとき、開始までの時間が少し短縮されるが、つなぎ目が乱れる。

録画チャンスを逃がしたくないときを選ぶ。

- 撮影スタンバイが約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。録画を再開するには、もう一度REC START/STOPボタンを押してください。

ASSIGN BTN

下記のいずれかの機能をASSIGNボタン(25ページ)に割り当てることができます。

▶ NO ASSIGN

機能を割り当てない。

STATUS CHECK

60ページをご覧ください。

STEADYSHOT

46ページをご覧ください。

ONE PUSH WB

42ページをご覧ください。

- [WHITE BAL.] (42ページ)が [ONE PUSH] に設定されているときに有効です。

HISTOGRAM

46ページをご覧ください。

COLOR BAR

62ページをご覧ください。

TIME/LANGU.メニュー

(CLOCK SET/WORLD TIME)

操作方法は36ページをご覧ください。

CLOCK SET

15ページをご覧ください。

WORLD TIME

海外で使うときは、[−]/[+]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。

時差を0に設定すると元の設定に戻る。

LANGUAGE

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG (SIMP)

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

パーソナルメニューを 変更する

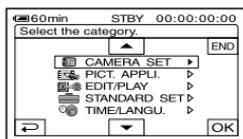
希望のメニュー項目を、電源ランプの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくとう便利です。

項目を追加する

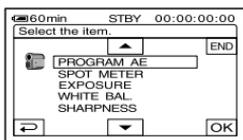
電源ランプの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいときは、不要な項目を削除してください。

1 [P-MENU] → [P-MENU SETUP] → [ADD]をタッチ。

画面にないときは、/をタッチして表示させる。



2 /で設定項目を選び、をタッチ。



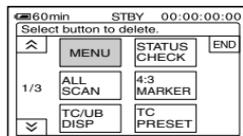
3 /で項目を選び、 → [YES] → をタッチ。

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

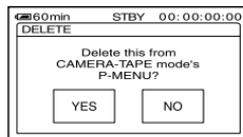
項目を削除する

1 [P-MENU] → [P-MENU SETUP] → [DELETE]をタッチ。

画面にないときは、/をタッチして表示させる。



2 削除する項目をタッチ。



3 [YES] → をタッチ。

• [MENU]と[P-MENU SETUP]は削除できません。

表示位置を並べ替える

- 1 **[P-MENU]** → **[P-MENU SETUP]** → **[SORT]** をタッチ。

画面にないときは、**[△]**/**[▽]** をタッチして表示させる。

- 2 移動する項目をタッチ。

- 3 **[△]**/**[▽]** で項目を移動する。

- 4 **[OK]** をタッチ。

続けて並べ替えるときは手順2～4を行う。

- 5 **[END]** → **[X]** をタッチ。

• **[P-MENU SETUP]** は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す (リセット)

- [P-MENU]** → **[P-MENU SETUP]** → **[RESET]** → **[YES]** → **[YES]** → **[X]** をタッチ。

画面にないときは、**[△]**/**[▽]** をタッチして表示させる。

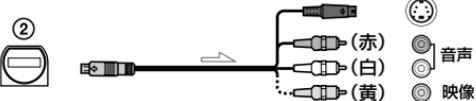
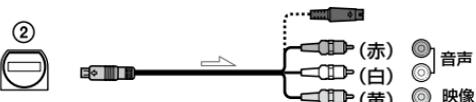
他のビデオやDVD 機器などにダビングする

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(9ページ)。
また、つなく機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ビデオ機器の種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。

⇨ : 信号の流れ

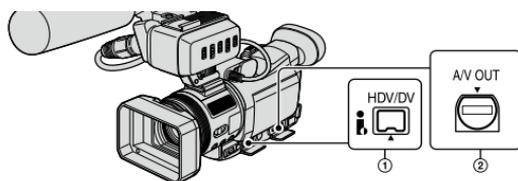
本機の端子	必要なケーブル	接続する端子	接続する機器
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	HDV1080i方式対応機器 →HD画質*1
 <p>HDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。</p>			
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	i.LINK端子付きのAV機器 →SD画質*1
			
②	AV接続ケーブル(付属)	Sビデオ 音声 映像	S(S1、S2)映像端子付きのAV機器 →SD画質*1
 <p>映像端子(黄色)はつながないでください。</p>			
②	AV接続ケーブル(付属)	S(S1、S2)映像端子 音声 映像	映像、音声端子付きのAV機器*2 →SD画質*1
 <p>S(S1、S2)映像端子はつながないでください。</p>			

*1 DVCAM(DV)規格で撮影した画像は、どの接続でもSD(標準)画質でダビングされます。

*2 モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



他のビデオやDVD 機器などにダビングする(つづき)

i.LINK ケーブル(別売り)でつなぐときは

ダビングされる画像の規格(HDVまたはDVCAM(DV))は、撮影した画像や相手機器が対応している規格によって異なります。下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

- メニュー設定を変える前に、i.LINK ケーブル(別売り)を抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

ダビングしたい規格	本機で撮影した画像の規格	相手機器の対応規格		メニュー設定	
		HDV 規格 ^{*1}	DVCAM (DV) 規格	[VCR HDV/DV] (55 ページ)	[i.LINK CONV] (59 ページ)
HDV 画像を HDV でダビング	HDV	HDV	- ^{*3}		[OFF]
HDV 画像を DVCAM (DV) に変換してダビング	HDV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON (HDV → DV)]
DV 画像を DVCAM (DV) でダビング	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)		[OFF]
HDV 規格と DVCAM (DV) 規格が混在したテープのときは					
HDV、DVCAM (DV) どちらも DVCAM (DV) に変換してダビング	HDV/DV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON (HDV → DV)]
HDV 規格で撮影した部分のみダビング	HDV	HDV			
	DVCAM (DV)	- ^{*2}	- ^{*3}	[HDV]	[OFF]
DVCAM (DV) で撮影した部分のみダビング	HDV	- ^{*2}	- ^{*2}		
	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[DV]	[OFF]

^{*1} HDV1080i 方式に対応している機器です。

^{*2} 無記録部分としてダビングします(画像、音声は記録されません)。

^{*3} 画像を認識できません(無記録状態になります)。

- [VCR HDV/DV] が [AUTO] のときは、HDV と DVCAM (DV) の信号が切り換わるときに一瞬画面が消えて、画像と音声途切れます。
- 録画側に HVR-A1J を使用する場合は、録画側も [VCR HDV/DV] を [AUTO] にしてください(55 ページ)。
- 再生側と録画側の両方に HVR-A1J などの HDV1080i 方式対応機器を使用して、i.LINK ケーブル(別売り)で接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- DVCAM (DV) 規格については、103 ページをご覧ください。

S (S1、S2) 映像プラグつきの AV 接続ケーブル(付属)でつなぐときは

映像プラグ(黄色)のかわりに S (S1、S2) 映像プラグを接続してください。映像プラグでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。DVCAM (DV) 方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S 映像プラグのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ダビングする

1 本機(再生側)の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

再生機器(テレビなど)に合わせて、
[DOWN CONVERT]を設定してください(59ページ)。

2 ビデオ(録画側)の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「INPUT」(ビデオ1、ビデオ2入力など)にする。

3 本機とビデオをつなぐ。

接続について詳しくは、67ページをご覧ください。

- AV接続ケーブル(付属)でつなぐときは、[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL](お買い上げ時の設定)にしてください(63ページ)。

4 本機で再生を始め、ビデオで録画する。

詳しくは、ビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオの録画を停止し、本機の再生を停止する。

- i.LINK/HDV/DV端子(i.LINK)接続では、以下は録画されません。

- 画面表示
- [PICT.EFFECT] (51ページ)/ [D.EFFECT] (51ページ)を加えた画像
- 他機で付けたタイトル
- AV接続ケーブルでつないで日付などのデータコードをダビングしたいときは、[DATA CODE]を表示させてください(62ページ)。
- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像は、i.LINK/HDV/DV端子(i.LINK)から出力されません。
- i.LINKケーブル(別売り)接続時は、以下にご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。
 - ご使用する機器やアプリケーションなどによってはデータコードが表示、記録されないことがあります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
- i.LINKケーブル(別売り)接続時は、デジタル信号でやりとりをするので画質・音質の劣化がほとんどありません。
- i.LINKケーブル(別売り)接続時は、出力される信号の規格(HDVout **i.LINK**またはDVout **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。

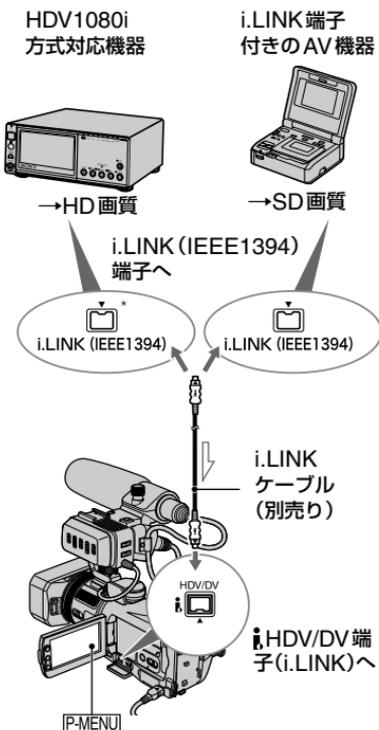
ビデオの画像を本機で録画する i.LINK

ビデオの画像を本機のテープに録画できます。

“メモリースティック デュオ”には静止画として記録できます。

あらかじめ、本機に録画用テープまたは“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。

- この操作にはi.LINKケーブル(別売り)が必要です。i.HDV/DV端子(i.LINK)以外からの録画はできません。



↗ : 信号の流れ

* HDV1080i方式のi.LINK端子が必要です。

動画を録画する

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 本機の入力信号を設定する。

HDV1080i方式対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[AUTO]にする。

DVCAM(DV)対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[DV]または[AUTO]にする(55ページ)。

3 ビデオを再生機としてつなぐ。

- i.LINKケーブル(別売り)接続時は、入力される信号の規格(HDVin **i.LINK**またはDVin **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。(再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。)

4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

5 本機で録画操作する。

[P-MENU] → [REC CTRL] → [REC PAUSE]をタッチ。

6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

7 録画を開始したい画面で[REC START]をタッチ。

8 録画を止める。

テープに取り込むときは、[STOP] (停止) または[REC PAUSE]をタッチ。

テープの画像を“メモリースティック デュオ”に取り込む

静止画を“メモリースティック デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 場面を探して、取り込む。

 (再生) をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でPHOTOボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

- “メモリースティック デュオ”に取り込んだときの日時は記録されますが、テープに記録されたDATA CODEは記録できません。
- 再生している画像がHDV規格のとき、画像サイズは1440×810になります。再生している画像がDVCAM (DV) 規格でワイドのとき、画像サイズは640×360に、4:3のときは640×480になります。

9 → をタッチ。

- テレビ放送などの番組を  HDV/DV端子 (i.LINK) から録画することはできません。
- DVCAM (DV) 機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、以下にご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
 - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- 4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

静止画を記録する

1 「動画を録画する」の手順1～4を行う。

2 ビデオを再生する。

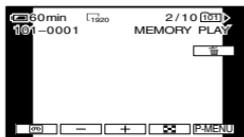
再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場面でPHOTOボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。

“メモリースティック デュオ”の画像を消す

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 **MEMORY** をタッチ。



3 **[-]** / **[+]** で削除する画像を表示させる。

- すべての画像を消去するには、メニューの [ALL ERASE] (49ページ) で削除します。

4 **[DELETE]** → **[YES]** をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- インデックス表示画面(21ページ)で、**[SET]** → **[DELETE]** → 削除する画像 → **[OK]** → **[YES]** をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。
- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止になっているとき(105ページ)やプロテクトされている画像(72ページ)は削除できません。

“メモリースティック デュオ”の画像にマークをつける (プロテクト/プリントマーク)

誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック デュオ”のときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください(105ページ)。

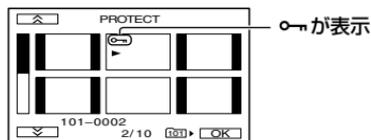
記録した画像を保護する (プロテクト)

画像に誤消去防止(プロテクト)指定できます。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 **MEMORY** → **[PROTECT]** → **[SET]** → **[PROTECT]** をタッチ。

3 プロテクトする画像をタッチ。



4 **[OK]** → **[END]** をタッチ。

- プロテクトを外すには、手順3で外す画像をもう1度タッチ。

記録した画像を印刷する (PictBridge対応プリンター)

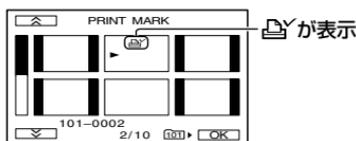
静止画にプリント用のマークを付ける(プリントマーク)

本機はプリントする画像を選択できるDPOF(Digital Print Order Format)規格に対応のため、マークを付けると、プリント時に選び直す必要がありません(プリント枚数は指定できません)。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 MEMORY → → SET → [PRINT MARK] をタッチ。

3 プリントマークを付ける画像をタッチ。



4 OK → [END] をタッチ。

- プリントマークを外すには、手順3で、外す画像をもう1度タッチ。
- 他機でプリントマークを付けた画像が「メモリースティック デュオ」に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンなしで印刷できます。

PictBridge

本機と付属のACアダプターを接続し、電源はコンセントから取ってください。あらかじめ、本機に静止画を記録した「メモリースティック デュオ」を入れて、プリンターの電源を入れてください。

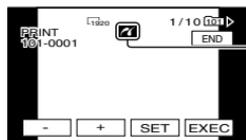
本機とプリンターを接続する

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 P-MENU → [MENU] → STANDARD SET → [USB SELECT] → [PictBridge PRINT] → OK → をタッチ。

3 USBケーブル(付属)で本機の↓(USB)端子とプリンターをつなぐ。

4 PICT.APPLI. → [PictBridge PRINT] をタッチ。



本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される。

「メモリースティック デュオ」に記録されている画像が表示される。

記録した画像印刷する(PictBridge対応プリンター) (つづき)

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 / で印刷する画像を選ぶ。

2 → [COPIES] をタッチ。

3 / で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

4 → [END] をタッチ。

日付を入れて印刷するには、 → [DATE/TIME] → [DATE] または [DAY&TIME] →  をタッチ。

5 → [YES] をタッチ。

印刷が完了すると [PRINTING...] (プリント中です) の表示が消え、画像選択画面に戻る。

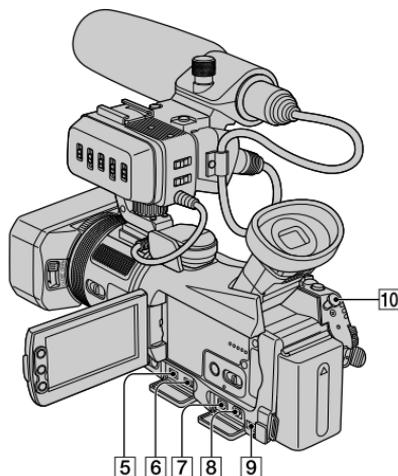
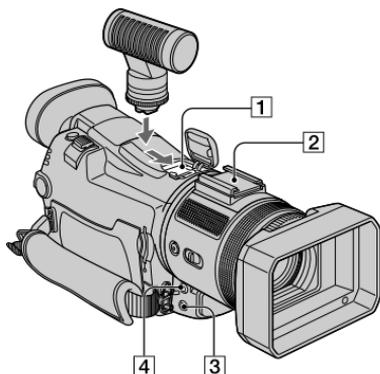
印刷終了後、[END] をタッチ。

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に  が表示中に以下の操作をすると、正常な処理が行われません。
 - POWERスイッチを切り換える。
 - プリンターからUSBケーブルを抜く。
 - 本機から“メモリースティック デュオ”を抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。

特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。

- プリンターによっては、日付印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

外部機器をつなぐ端子について



①...シューカバーを開ける

③ ~ ⑩... 端子カバーを開ける

① アクティブインターフェイスシュー



専用マイクやフラッシュなどを使用時、本機から電源供給し、本機のPOWERスイッチに連動して、接続機器の電源入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 外部機器を接続するときは、シューカバーを外してください。
- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- 外部機器と接続すると、バッテリーの消耗は早くなります。
- 外部マイク(別売り)を接続すると、内蔵ステレオマイク(25ページ)より優先されません。

② アクセサリーシュー (18ページ)

③ Ω (ヘッドホン) 端子 (緑色)

- ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものを使ってください。ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

④ MIC (マイク) 端子 (赤色)

- MIC (PLUG IN POWER) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイク(別売り)を接続すると、内蔵ステレオマイク(25ページ)より優先されません。

⑤ \mathbb{H} HDV/DV 端子 (i.LINK) (67ページ)

⑥ Ψ (USB) 端子 (73、76ページ)

⑦ COMPONENT OUT 端子 (出力のみ対応) (32ページ)

⑧ A/V OUT 端子 (出力のみ対応) (32、67ページ)

⑨ DC IN 端子 (9ページ)

⑩ \odot LANC 端子 (青色)

- ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできます。

パソコンと接続する

本機とパソコンを接続して、以下の操作を行うことができます。

“メモリースティック デュオ”の静止画
を取り込む

→76ページ

テープの動画をHDV規格で取り込む

→79ページ

テープの動画をDVCAM(DV)規格で
取り込む

→79ページ

接続について

本機とパソコンをつなぐには、以下の2つの方法があります。

–USBケーブル(付属)でつなぐ

“メモリースティック デュオ”の画像を取り
込むとき

–i.LINKケーブル(別売り)でつなぐ

テープの画像を取り込むとき

パソコン接続時のご注意

- USBケーブル(付属)やi.LINKケーブル(別売り)などで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- 以下の操作はできません。
 - USBケーブル(付属)で接続してテープの画像をパソコンに取り込む。
 - i.LINKケーブル(別売り)で接続して“メモリースティック デュオ”の画像をパソコンに取り込む。
- USBケーブル(付属)をパソコンから外すときは、正しい手順で操作してください(78ページ)。

静止画をパソコンに取り込む

推奨パソコン環境について

Windowsをお使いの場合

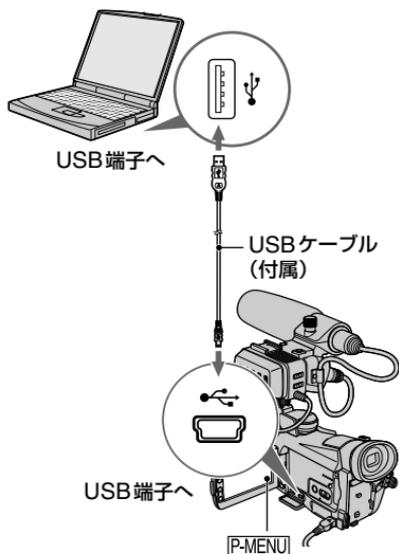
- 対応OS: Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。
- CPU: MMX Pentium 200MHz以上
- その他必要な装置: USB端子標準装備

Macintoshをお使いの場合

- 対応OS: Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3)
- その他必要な装置: USB端子標準装備

USBケーブル(付属)でつなぐ

- パソコンの標準ドライバで動作するので、ソフトウェアのインストールは不要です。
- パソコンにメモリースティックスロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオアダプター(付属)に入れてから、パソコンのメモリースティックスロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリースティック PRO デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック PRO デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティックスロットを使用せずに本機をUSBケーブル(付属)でつないでください。



- この段階では、まだ本機とパソコンをつながないでください。
- 本機の電源を入れる前に、本機とパソコンをUSBケーブル(付属)でつなぐと、本機がパソコンに認識されない場合があります。
- 推奨するつなぎかたについては79ページをご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる。

使用中のアプリケーションは、終了させておいてください。

Windows 2000/ Windows XP をお使いの場合

Administrator 権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。

2 本機に“メモリースティックデュオ”を入れる。

3 本機の電源を準備する。

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(9ページ)。

4 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

5 本機の液晶画面で[P-MENU]→[MENU]→ STANDARD SET→[USB SELECT]→[MEMORY STICK]→をタッチ。

6 本機の(USB)端子にUSBケーブル(付属)をつなぐ。

7 パソコンのUSB端子にUSBケーブル(付属)のもう片方をつなぐ。

本機の液晶画面に[USB CONNECT]が表示されます。

初回は、パソコンが本機を認識するのに時間がかかることがあります。

画像を取り込む

Windows パソコンのとき

[マイコンピュータ]内に表示される[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックし、フォルダ内の画像をパソコンのハードディスクへコピーする。

静止画をパソコンに取り込む(つづき)



- ① フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した静止画が入っているフォルダ(再生のみ可能)
- ② 本機の画像フォルダ(新しくフォルダを作成していない場合は[101MSDCF]のみ)
- ③ フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した動画が入っているフォルダ

フォルダ名	ファイル名	意味
101MSDCF (~999MSDCF)	DSC0□□ □□.JPG	静止画 ファイル

ファイル名の□□□□には、0001 ~ 9999までの数字が入ります。

Macintoshのとき

ドライブアイコンをダブルクリックし、取り込みたい画像ファイルをMacintoshのハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップする。

USBケーブルをはずす

Windows パソコンのとき

本機の液晶画面に[USB CONNECT]と表示されたときは、次のようにUSBケーブルを外してください。

- ① 画面右下のあるタスクトレイの中の、[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

このアイコンをクリックする。



タスクトレイ

- ② [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します(停止します)]をクリックする。

この部分を
クリックする。



- ③ [OK]をクリックする。
- ④ 本機とパソコンからUSBケーブルをはずす。

本機の液晶画面に[USB CONNECT]と表示されていないときは、手順4のみ行ってください。

- 正しい手順でUSBケーブルを外さないと、“メモリースティック デュオ”内のファイルが正常に更新されない場合があります。また“メモリースティック デュオ”の故障の原因になります。

テープの動画をパソコンに取り込む

Macintosh のとき

- ① Macintosh で使用中のアプリケーションを終了させる。
 - ② Macintosh の画面にあるドライブアイコンを [ゴミ箱] にドラッグ & ドロップする。
 - ③ 本機と Macintosh から USB ケーブル (付属) を外す。
- Mac OS X をお使いの場合は、Macintosh の電源を切ってから、USB ケーブル (付属) をはずし、本機から “メモリスティック デュオ” を取り出してください。
 - 本機のアクセスランプが点灯中は USB ケーブル (付属) を抜かないでください。
 - 本機の電源を切るときは、本機から USB ケーブル (付属) を外してから切ってください。

推奨するつなぎかた

本機を正しく動作させるためには、次のようにつないでください。

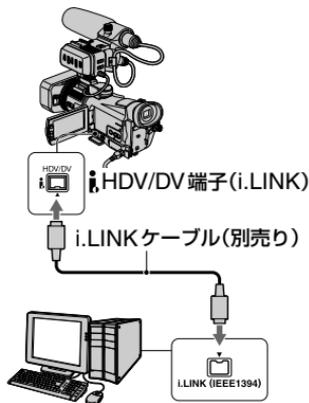
- パソコンの USB 端子に、USB ケーブル (付属) で本機をつなぎ、他の USB 端子には何もつながらない。
- USB キーボードとマウスが標準でついているパソコンの場合、キーボードを USB 端子につないだ状態で、本機を USB ケーブル (付属) で別の USB 端子につなぐ。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器をつないだ場合の動作は保証していません。
- USB ケーブル (付属) は、必ずパソコンの USB 端子につないでください。キーボードや USB ハブなどを経由してつないでいる場合の動作は保証していません。
- パソコンの USB 端子に USB ケーブル (付属) がつながれていることを確認してください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについての動作を保証するものではありません。

i.LINK ケーブル (別売り) で本機とパソコンをつなぎます。

お手持ちのパソコンに i.LINK 端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトがインストールされている必要があります。撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格 (HDV または DVCAM (DV)) によって、必要なソフトウェアが以下の通り異なります。

パソコンに取り込まれる規格	撮影画像の規格	必要なソフトウェア
HDV	HDV	HDV 規格の信号取り込み可能な編集ソフト
DVCAM (DV)	HDV	DVCAM (DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト
DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV) 規格の信号取り込み可能な編集ソフト

- 画像の取り込み方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
- パソコンの推奨環境については、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく働かない場合があります。



パソコン接続時のご注意

- i.LINK ケーブル(別売り)は先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 以下の場合、パソコンが本機を正しく認識できなかったり、パソコンがハングアップしたりすることがあります。
 - 本機の画面上に表示されている規格(HDV または DVCAM (DV))の信号が扱えないパソコンに入出力する。
 - i.LINK ケーブル(別売り)接続中に、 STANDARD SET メニューの[VCR HDV/DV]と[i.LINK CONV]の設定を変える。
 - POWER スイッチが「CAMERA-TAPE」で i.LINK ケーブル(別売り)接続中に、 STANDARD SET メニューの[REC FORMAT]の設定を変える。
 - i.LINK ケーブル(別売り)接続中に、本機の POWER スイッチを切り換える。
- i.LINK ケーブル(別売り)接続時は、本機の画面に入出力信号の規格(HDV または DVCAM (DV))が表示されます。

本機の設定をするときは

撮影画像やパソコンに取り込まれる規格によって、必要なメニュー設定が異なります。

パソコンに取り込まれる規格	メニュー設定*1	撮影画像の規格
HDV	[VCR HDV/DV] → [HDV] [i.LINK CONV] → [OFF]	HDV
DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] → [HDV] [i.LINK CONV] → [ON (HDV → DV)]	HDV
DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] → [DV] [i.LINK CONV] → [OFF]	DVCAM (DV)

*1 メニュー設定について、[VCR HDV/DV]は55ページ、[i.LINK CONV]は59ページをご覧ください。

- DVCAM (DV)規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

パソコンから本機にHDV規格で取り込むときは

 STANDARD SET メニューの[VCR HDV/DV]を[HDV]に、[i.LINK CONV]を[OFF]にする(55、59ページ)。

パソコンから本機にDVCAM (DV)規格で取り込むときは

 STANDARD SET メニューの[VCR HDV/DV]を[DV]にする(55ページ)。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

全体操作について

電源が入らない。

- バッテリーの消耗または消耗間近、未装着。
- 充電されたバッテリーを取り付ける(9ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(9ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(25ページ)を先のとがったもので押す。(パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。)

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー / 電源について

電源が途中で切れる。

- もう1度電源を入れる(12ページ)、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する(9ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする(9ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(9ページ)。
- コンセントから電源が供給されていない(9ページ)。
- すでに充電が完了している(9ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(11ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(9ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせる。

バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にズレが生じている、または充電が不十分。満充電し直すと残量が正しく表示される(9ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(9、107ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(9、107ページ)。

ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

液晶画面/ファインダーについて

見慣れない表示が出る。

- 警告表示またはお知らせメッセージです。96ページをご覧ください。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたため、故障ではありません。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISPLAY/BATT INFOボタン(またはリモコンの画面表示ボタン)を押す(14ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節([CALIBRATION])する(110ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす(13ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません(13、58ページ)。
- [LCD/VF SET]の[Vf POWER]を[ON]に設定すると液晶画面の開閉によらず、ファインダーには画像が映ります(58ページ)。

カセットについて

カセットが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター)が正しく接続されているか確認する(9ページ)。
- バッテリーを外して、もう1度取り付ける(9ページ)。
- 充電されたバッテリーを取り付ける(9ページ)。

カセットカバーを開けてもテープが出てこない。

- 本機が結露しかけている(109ページ)。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[ REMAINING]を[ON]にする(63ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。

“メモリースティック デュオ”について

操作を受け付けない。

- POWERスイッチを「CAMERA-MEMORY」または「PLAY/EDIT」にする(12ページ)。
- “メモリースティック デュオ”を入れる(16ページ)。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”を入れている場合は、本機でフォーマットする(49ページ)。

“メモリースティック デュオ”の画像を消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- プロテクトを解除する(72ページ)。
- インデックス表示で1度に消せる画像は100枚まで。

“メモリースティック デュオ”の画像を全消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- プロテクトを解除する(72ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

“メモリースティック デュオ”をフォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。

プロテクトが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す(72ページ)。

プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- インデックス表示にしてから、プリントマークを実行し直す(72ページ)。
- プリントマークは1000枚以上付けられません。

データファイル名が正しくない。

- ディレクトリー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがある。
- ファイルが壊れている。
- 本機で対応していないファイル形式を使っている(105ページ)。

データファイル名が点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応していないファイル形式を使っている(105ページ)。

撮影について

「撮影時の画像調節について」(86ページ)、「“メモリースティック デュオ”について」(83ページ)もご覧ください。

REC START/STOP ボタンを押しても、テープが走行しない。

- POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にする(20ページ)。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる(102ページ)。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(109ページ)。

ズームができない。

- [SHOT TRANS]実行中はズーム操作ができません。

“メモリースティック デュオ”に撮影できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(105ページ)。
- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す(72ページ)。
- 本機で“メモリースティック デュオ”をフォーマットし直すか(49ページ)、別の“メモリースティック デュオ”を入れる。
- 本機では“メモリースティック デュオ”に動画を記録することはできません。
- POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」で、次の設定のときは“メモリースティック デュオ”に静止画を記録することはできません。
 - [PICT.EFFECT]
 - [D.EFFECT]
 - [COLOR SLOW S]
 - [SUPER NS]
 - [SHUTTR SPEED]が1/30以下のとき
 - [FADER]実行中
 - [COLOR BAR]
 - [CINEFRAME]

POWERスイッチの位置により画角が異なる。

- 「CAMERA-MEMORY」のときの画角は「CAMERA-TAPE」のときより広くなります。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- テープできれいにつないで撮影するには、次の点に気をつける。
 - エンドサーチする(29ページ)。
 - カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
 - 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させない。
 - [QUICK REC]が[ON]のときは、つなぎ撮りできない場合があります。

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [BEEP]を[ON]にする(63ページ)。

別売りのフラッシュが発光しない。

- フラッシュの電源が入っていない。または正しく取り付けられていない。
- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
 - [STILL SET]の[ BURST]
 - POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のとき
- [FLASH SET]の[FLASH MODE]を[AUTO]または[AUTO ]にしても、次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
 - [PROGRAM AE]の[SPOT LIGHT]、[SUNSET & MOON]または[LANDSCAPE]
 - [SPOT METER]/[EXPOSURE]を[MANUAL]に設定したとき

故障かな？と思ったら(つづき)

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出したため(29ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。

エンドサーチが誤動作する。

- テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。

撮影時の画像調節について

「メニュー操作について」(90ページ)もご覧ください。

テレマクロができない。

- 次の設定のとき、テレマクロはできません。
 - [PROGRAM AE]
 - テープに動画を録画中
 - [COLOR BAR]

オートフォーカスができない。

- FOCUS/ZOOMスイッチを[AUTO]にして、オートフォーカスにする(23ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(23ページ)。

フォーカスができない。

- [SHOT TRANS]実行中はできません。

手ぶれ補正ができない。

- [STEADYSHOT]を[ON]にする。
- [SHOT TRANS]中、手ぶれ補正はできません。

逆光補正ができない。

- [SPOT METER] (41ページ)を設定すると、逆光補正は解除されます。
- カメラ明るさがオート以外のとき、逆光補正は働きません。

デジタルズームができない。

- 以下のとき、[DIGITAL ZOOM]は働きません。
 - TELE MACRO
 - [SHOT TRANS]中

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- [SUPER NS]、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画面を横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速く画面を横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する(23ページ)。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAY/BATT INFO ボタンを数秒間押ししたままにして、バックライトを点灯する(13ページ)。

画像が明るくなる、横帯が現れる、色が変わる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。[PROGRAM AE] (41ページ)を解除すると症状が軽減されます。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [STEADYSHOT]を[OFF]にする(46ページ)。

画面に白点が出ることもある。

- シャッタースピードを遅くしたときに出る現象で、故障ではありません。

画面が白すぎて画像が見えない。

- 逆光補正を解除する(23ページ)。

再生について

「メモリースティック デュオ」について(83ページ)もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- テープを巻き戻す(21ページ)。

逆方向に変速再生ができない。

- HDV規格で記録したテープではできません。

“メモリースティック デュオ”が正しい画像サイズや比率で再生できない。

- 他機で撮影した画像は、正しい画像サイズで表示されないことがあります。故障ではありません。

“メモリースティック デュオ”の画像データが再生できない。

- 他機で“メモリースティック デュオ”に記録した動画を本機で見ることはできません。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(106ページ)。
- 他機で撮影した画像は、再生できないことがあります。故障ではありません(106ページ)。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする(110ページ)。

他機で4CHマイク記録した音声が聞こえない。DVCAM DV 

-  AUDIO MIX]を調整する(56ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- 撮影時に[SHARPNESS]で側に調整する(42ページ)。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(21ページ)。
-  AUDIO MIX]を[CH3, CH4]側(アフレコ音声)から最適な音声になるまで調節する(56ページ)。
- S映像プラグまたはコンポーネントビデオケーブル(付属)だけでつないでいるため。AV接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグもあわせてつなぐ(32ページ)。

記録開始点まで巻き戻しても、タイムコードが00:00:00:00にならない。

- 記録開始付近のタイムコードは正しく表示されませんが、故障ではありません。再生開始すれば、開始点からタイムコードも画像も正しく表示されます。

早送り/巻き戻し中にユーザービットが正しく表示されない。

- HDV規格の映像をi.LINK入力したときで、入力する映像にユーザービットがない信号を記録した場合、ユーザービットは正しく表示されません。再生時は[-- -- -- --]、早送り/巻き戻し中は[00 00 00 00]と表示されます。

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたとときに起こる症状で、故障ではありません。

音声が入切れる。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする(110ページ)。

[――]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、データコードを読めません。

ノイズが現れ、画面上に**PAL**または**50i**と表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム(NTSC)と違うため(100ページ)。故障ではありません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。故障ではありません。

エンドサーチ、レックレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

i.LINKケーブル(別売り)でテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- テレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見ることができません(32ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

コンポーネントビデオケーブル(付属)でテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて STANDARD SETメニューの[COMPONENT]を正しく設定する(58ページ)。
- コンポーネントビデオケーブル(付属)だけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(32ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイドで撮影したテープを4:3テレビで見るときの起こる現象で、 STANDARD SETメニューの[DOWN CONVERT]を設定して再生する(59ページ)。
- DVCAM(DV)規格で撮影するときは、あらかじめ STANDARD SETメニューの[DV SET] →  WIDE SELECTを[4:3]にして撮影する(56ページ)。

画面上に**2/2-ST**が表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

リモコンについて

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CTRL]を[ON]にする(63ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(111ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)を付けていると、リモコン受光部を妨げることがあるため、コンバージョンレンズを外す。
- ZERO SET MEMORY ボタンは本機では使用できません。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオデッキのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

メニュー操作について

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。

[PROGRAM AE]ができない。

- 次の設定のとき、[PROGRAM AE]はできません。
 - NightShot
 - [COLOR BAR]
 - [D.EFFECT]の[OLD MOVIE]
 - TELE MACRO
 - [COLOR SLOW S]
 - AUTO LOCKスイッチが「ON」のとき(23ページ)

[SPOT METER]ができない。

- 次の設定のとき、[SPOT METER]はできません。
 - NightShot
 - [COLOR BAR]
 - [COLOR SLOW S]
 - AUTO LOCKスイッチが「ON」のとき(23ページ)
- [PROGRAM AE]を設定すると[SPOT METER]は[AUTO]に戻る。

[EXPOSURE] (カメラ明るさ)を手動で調節できない。

- 次の設定のとき、手動で明るさを調節できません。
 - NightShot
 - [COLOR SLOW S]
 - [COLOR BAR]
 - AUTO LOCKスイッチが「ON」のとき (23ページ)
- [PROGRAM AE]を設定すると [EXPOSURE] (カメラ明るさ)は解除されます。

[WHITE BAL.]ができない。

- 次の設定のとき、[WHITE BAL.]はできません。
 - NightShot
 - [COLOR BAR]
 - AUTO LOCKスイッチが「ON」のとき (23ページ)

[SHARPNESS]が調整できない。

- [COLOR BAR]が設定されているとき、[SHARPNESS]は調整できません。

[SHUTTR SPEED]を手動で調整できない。

- 次の設定のとき、[SHUTTR SPEED]を調整できません。
 - NightShot
 - [PROGRAM AE]
 - [COLOR BAR]
 - [COLOR SLOW S]
 - [D.EFFECT]の[OLD MOVIE]
 - [SPOT METER]
 - [EXPOSURE]が[AUTO]以外するとき
 - POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のとき
 - AUTO LOCKスイッチが「ON」のとき (23ページ)
- [CINEFRAME]が設定されているときは、シャッタースピードを1/30秒以下に調整できません。
- [PROGRAM AE]を設定すると、[SHUTTR SPEED]は[AUTO]に戻ります。

[AE SHIFT]が操作できない。

- 次の設定のとき、[AE SHIFT]はできません。
 - [COLOR BAR]
 - [EXPOSURE]が[AUTO]以外するとき

[SPOT FOCUS]ができない。

- 次の設定のとき、[SPOT FOCUS]はできません。
 - [PROGRAM AE]
 - [COLOR BAR]
 - FOCUS/ZOOMスイッチが「AUTO」のとき

[COLOR SLOW S]ができない。

- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は働きません。
 - [FADER]
 - [D.EFFECT]
 - [PROGRAM AE]
 - [SHUTTR SPEED]
 - [COLOR BAR]
 - NightShot
 - [SPOT METER]
 - [EXPOSURE]が[AUTO]以外のとき
 - [CINEFRAME]

[HISTOGRAM]が表示されない。

- 下記の場合[HISTOGRAM]は表示されません。
 - 拡大フォーカス表示中
 - [DATE REC]中
- 下記の場合、が表示されて[HISTOGRAM]は表示されません。
 - [DIGITAL ZOOM]中
 - [D.EFFECT]中
 - [COLOR BAR]

[FADER]ができない。

- 次の設定のとき、[FADER]はできません。
 - [SELF TIMER]
 - [COLOR SLOW S]
 - [D.EFFECT]
 - [COLOR BAR]
 - [SUPER NS]

[SUPER NS]ができない。

- [CINEFRAME]が設定されているとき、[SUPER NS]はできません。

[FULL SCAN]ができない。

- [STEADYSHOT]を[OFF]にする。

[D.EFFECT]ができない。

- 次の設定のとき、[D.EFFECT]はできません。
 - [COLOR SLOW S]
 - [FADER]
 - [SHUTTR SPEED]が1/30秒以下のとき
 - [COLOR BAR]
 - [SUPER NS]
 - [CINEFRAME]

- 次の設定のとき、[OLD MOVIE]は動きません。
 - [PICT.EFFECT]
 - [SHUTTR SPEED]が[MANUAL]のとき
 - [PROGRAM AE]
 - [DV SET]の[ WIDE SELECT]が[4:3]のとき

[PICT.EFFECT]ができない。

- 次の設定のとき、[PICT.EFFECT]はできません。
 - [COLOR BAR]
 - [D.EFFECT]の[OLD MOVIE]
- [PICT.EFFECT]の[SKNTON DETAIL]は、逆光補正時には設定できません。

[SHOT TRANS]ができない。

- 次の設定のとき、[SHOT TRANS]はできません。
 - NightShot
 - [COLOR BAR]

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(i.LINK入力)の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。

- [DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(63ページ)。
- [DISP OUTPUT] (63ページ)が、[V-OUT/PANEL]のとき、DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- AV接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(63ページ)。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。DVCAM DV

- AV接続ケーブルでつないだ機器から外部入力することはできません。
- AV接続ケーブルが正しくつながっていない。
AV接続ケーブルが他機の入力端子へつながっているか確認する。

ダビング編集集中、i.LINKケーブル(別売り)を接続しているのに、モニターに画像が出ない。

- 接続する機器に合わせて  STANDARD SETメニューの[VCR HDV/DV]を正しく設定する(55ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

故障かな？と思ったら(つづき)

他機でアフレコした音声が入らない。DVCAM DV 型

- [AUDIO MIX] を [CH1, CH2] (オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(56ページ)。

テープから“メモリースティック デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。[USB] [i.LINK]

- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- キーボード、マウス以外で、パソコンのψ(USB)端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。

パソコンで本機が映している映像が見られない。[i.LINK]

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。

テープの画像がパソコン画面で見られない。[i.LINK]

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- USBケーブル(付属)では取り込めないため、i.LINKケーブル(別売り)でつなぐ。

“メモリースティック デュオ”の画像がパソコンで見られない。[USB]

- “メモリースティック デュオ”の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- i.LINKケーブル(別売り)では取り込めないため、USBケーブル(付属)で取り込む。
- テープ再生中や編集中等、本機を操作していると“メモリースティック デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう1度つないでください。
- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして[USB SELECT]を[MEMORY STICK]にする。

[リムーバブルディスク]がパソコン画面に表示されない。[USB]

- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして[USB SELECT]を[MEMORY STICK]にする。
- 本機に“メモリースティック デュオ”を入れる。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのψ(USB)端子につながれている他の機器を取り外す。
- テープ再生中や編集中等、本機を操作していると“メモリースティック デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう1度つないでください。

パソコンに画像の転送ができない。[USB]

- Windowsパソコンのときは、以下の手順で“メモリースティック デュオ”の画像をパソコンに表示する。
 - 1 [マイコンピュータ]をダブルクリックする。
 - 2 新しく認識された[リムーバブルディスク]のアイコンをダブルクリックする。
表示されるまで時間がかかることがあります。
 - 3 画像ファイルをダブルクリックする。

パソコンから転送したファイルが“メモリースティック デュオ”に書き込まれていない。

- USBケーブル(付属)を正しい手順で取り外していない。本機とパソコンをもう1度つないで転送する(76ページ)。

ソニーパーソナルコンピューター VAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate」を使ってDVCAM(DV)規格の画像の編集をしようとすると、本機を認識しない。DVCAM DV 型

- 「DVgate/DVgate Motion/DVgate Still」のバージョンが
DVgate Ver.2.2.00/01
DVgate Ver.2.1.xx
DVgate Ver.2.0.xx
DVgate Motion Ver.1.4.xx/DVgate Still Ver.1.2.xx
に該当する場合は、本機との接続について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
ハンディカムホームページ「サポート&修理」
<http://www.sony.co.jp/cam/support/>

ソニーパーソナルコンピューター VAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate Plus Ver.1.3」を使ってHDV規格で撮影した画像の編集ができない。HDV1080i

- 「DVgate Plus Ver.1.3.XX」を「DVgate Plus Ver.2.0」にアップグレードする必要があります。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

警告表示とお知らせ メッセージ

自己診断表示 / 警告表示

液晶画面またはファインダーに、以下のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C: (または E:) □□: □□ (自己診断表示)

C:04: □□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(107ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりとつなぐ(9ページ)。

C:06: □□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:21: □□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す(109ページ)。

C:22: □□

- ビデオヘッドが汚れている。クリーニングカセットできれいにする(110ページ)。

C:31: □□ / C:32: □□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください(109ページ)。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。RESETボタン(25ページ)を押してからもう1度操作し直す。

E:61: □□ / E:62: □□ / E:91: □□ / E:92: □□

- 修理が必要なため、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001 (ファイル関連の警告)

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル(105ページ)。

☞ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーバックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

☒ (結露の警告) *

- カセットを取り出し、電源を外して、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する(109ページ)。

☒ (“メモリスティック デュオ”関連の警告)

- “メモリスティック デュオ”が入っていない(16ページ)。

☒ (“メモリスティック デュオ”フォーマット関連の警告) *

- “メモリスティック デュオ”が壊れている。
- “メモリスティック デュオ”が正しくフォーマットされていない(49、105ページ)。

☒ (非対応“メモリスティック デュオ”関連の警告) *

- 本機では使えない“メモリスティック デュオ”を入れた(105ページ)。

△C12 C13(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C12(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが低温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを暖かいところに置く。

ⓧ(テープ関連の警告)**遅い点滅**

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。*
- カセットが誤消去防止状態になっている(102ページ)。*

速い点滅

- テープが終わっている。*

▲(テープを取り出す必要がある警告)***遅い点滅**

- カセットが誤消去防止状態になっている(102ページ)。

速い点滅

- 結露している(109ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(96ページ)。

ⓧ(画像消去に関する警告)*

- 画像が消去できないようになっている(72ページ)。

□○(“メモリスティック デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- “メモリスティック デュオ”が誤消去防止状態になっている(105ページ)。

⚡(フラッシュ関連の警告)**遅い点滅**

- 充電中

⚡(手ぶれ警告)

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ぶれが起こりやすくなっているため、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ぶれマークは消えません。

* 警告表示やお知らせメッセージが出るときに、操作音が鳴ります([BEEP] 63ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ バッテリー

Use the “InfoLITHIUM” battery pack. (“インフォリチウム”バッテリーを使ってください) (107ページ)

Battery level is low. (バッテリーを取りかえてください) (9、107ページ)

Old battery. Use new one. (このバッテリーは古くなりました 取りかえてください) (107ページ)

▲Re-attach the power source. (▲電源を取り付けなおしてください) (9ページ)

■ 結露

 Moisture condensation. Eject the cassette. ( 結露しています カセットを取り出してください) (109ページ)

 Moisture condensation. Turn off for 1H. ( 結露しています 約1時間放置してください) (109ページ)

■ カセット/テープ

 Insert a cassette. ( カセットを入れてください) (16ページ)

 Reinsert the cassette. ( カセットを入れなおしてください)

- テープの損傷などがないかも確認する。

  The tape is locked-check the tab. (  カセットの誤消去防止ツマミを確認してください) (102ページ)

 The tape has reached the end. ( テープが終わっています)

- テープを巻き戻すか交換する。

■ “メモリースティック デュオ”

 Insert a Memory Stick. ( メモリースティックを入れてください) (16ページ)

 Reinsert the Memory Stick. ( メモリースティックを入れなおしてください)

- “メモリースティック デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック デュオ”が壊れていることがあるので交換する。

This is a read-only Memory Stick. (読み出し専用のメモリースティックです)

- 書き込みができる“メモリースティック デュオ”を入れる。

 Incompatible type of Memory Stick. ( 非対応のメモリースティックです)

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている(105ページ)。

 This Memory Stick is not formatted correctly. ( このメモリースティックはフォーマットが違います)

- “メモリースティック デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする(49、105ページ)。

Cannot record. The Memory Stick is full. (このメモリースティックは空き容量がありません これ以上は記録できません)

- 不要な画像を消す(72ページ)。

 The Memory Stick is locked. Check the tab. ( メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください) (105ページ)

Cannot playback. Reinsert the Memory Stick. (再生できません メモリースティックを入れなおしてください) (16ページ)

Cannot record. Reinsert the Memory Stick. (記録できません メモリースティックを入れなおしてください) (16ページ)

No file. (ファイルがありません)

- “メモリースティック デュオ”になにも記録されていない、または認識できる画像がない。

Memory Stick folders are full. (メモリースティックのフォルダがいっぱいです)

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか(49ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

Cannot record still images on Memory Stick. (メモリースティックに静止画記録できない状態です) (85ページ)

■ PictBridge対応プリンター

Check the connected device. (接続先を確認してください)

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

Connect the camcorder to a PictBridge compatible printer. (PictBridge対応プリンターと接続してください)

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

Error. Cancel the task. (異常が確認されました 中止してください)

- プリンターを確認する。

Cannot print. Check the printer. (プリントできません プリンターを確認してください)

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

■ フラッシュ

Charging... Cannot record still images. (充電中です 静止画記録はできません)

- フラッシュの充電中に静止画記録しようとしている。

■ その他

Cannot record due to copyright protection. (コピープロテクトされています 記録できません) (101ページ)

Change to correct tape format. (非対応のフォーマットです)

- 対応していないフォーマットのため、再生できません。

No output image in “VCR HDV/DV”. Change format. (この“ビデオ HDV/DV”設定では表示できない信号です。表示するには設定を変更してください。)

- 再生や信号入力を停止するか、[VCR HDV/DV]設定を変更してください(55ページ)。

⊗ 汚 Dirty video head. Use a cleaning cassette. (⊗ 汚ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください) (110ページ)

Invalid in AUTO LOCK mode. (AUTO LOCK中は無効です) (23ページ)

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源(AC100V ~ 240V、50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは HDV1080i

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは、HDV1080i方式対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントケーブル(別売り)、AV接続ケーブル(付属)が必要です。

HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

DVCAM (DV)規格で記録した再生画像を見るには DVCAM DV 型

DVCAM (DV)規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式で、映像・音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。DVCAM (DV)方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

時差補正機能について

海外で使うとき、 TIME/LANGU.メニューの[WORLD TIME]を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(64ページ)。

HDV規格と記録・再生について

■ 使えるビデオカセット

本機は、HDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DVCAM/DV規格で記録するときは、MiniDVマークが付いたカセットをおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、

DVCAMマークが付いたカセットをおすすめします。

本機はカセットメモリー非対応です。

HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1080本のインターレース方式(1080i、画素数1440×1080ドット)を採用しています。

記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

再生について

DVCAM(DV)規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。

本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子(i.LINK端子(i.LINK))から出力することはできません。

無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ(29ページ)を行って撮影終了位置に戻します。

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。

このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[Cannot record due to copyright protection.] (コピープロテクトされています 記録できません)が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声モードについて

音声モードについてDVCAM方式では、下記の2つがあります。

- 本機ではアフレコできません。

■ FS32K(12ビット)モード

「チャンネル1/2」と「チャンネル3/4」に4つのチャンネルを使って記録できます。撮影時は「チャンネル1/2」に記録されます。他機でアフレコした音声は「チャンネル3/4」に記録されます。再生時にメニューの[AUDIO MIX]で[MIX]を選ぶと、[CH1, CH2]と[CH3, CH4]の音声を合成して出力します。

■ FS48K(16ビット)モード

2つのチャンネルを使い高音質で記録できます。音声モード液晶画面またはファインダーで確認できます。

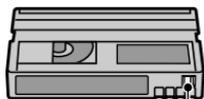
取り扱い上のご注意

■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違っても消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

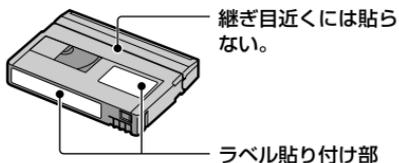


REC : 録画できる。
SAVE : 録画できない。
(誤消去防止状態)



■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。



■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声がかかる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



金メッキ部

DVCAM/DV 規格の互換性について

DVCAM規格は、民生用のDV規格に比べて、より信頼性を高めた規格です。DVCAM規格とDV規格の仕様の違い、互換性、編集時の制約事項は、以下の通りです。

DVCAM規格とDV規格の違い

仕様	DVCAM	DV
トラック幅	15 μ m	10 μ m
オーディオ	12bit:32kHz	12bit:32kHz
サンプリング周波数	16bit:48kHz	16bit:32kHz 44.1kHz 48kHz
オーディオ記録モード*	ロックモード	アンロックモード

* オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。一方、民生用のDV規格で採用しているアンロックモードでは、オーディオとビデオのサンプリングクロックはそれぞれ独立しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。

カセットの互換性

録画機のフォーマットによって、記録されるフォーマットが決まります。

録画機	使用するカセットの規格	記録された規格
DVCAM機	DVCAM DV	DVCAM
DV機	DVCAM DV	DV

- DVCAM規格でミニDVカセットも使用できますが、DVCAM規格の高い信頼性を生かすために、ミニDVCAMカセットをおすすめします。
- DVCAM規格でミニDVカセットを使って録画する場合、録画再生可能時間がミニDVカセットに表示されている時間の約2/3になります。

再生時の互換性

再生テープの規格	DV規格の機種	DVCAM規格の機種
DV	再生できる	SPモードで記録されたテープのみ再生できる
DVCAM	機種によっては再生できる場合もある	再生できる

DV 端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、再生テープと使用する機器の規格によって、作成できるテープの規格が異なります。ダビングのしかたによっては、そのテープを使っての再生や編集に制約が生じることがあります。あらかじめ「編集時の制約」(104ページ)をお読みになってから、ダビングを行ってください。

再生テープの規格	再生機	録画機	ダビングしたテープの規格
DV (SP (標準) モードのみ)	DVCAM 機	DVCAM 機 DV 機	DVCAM ¹⁾ DV
DV	DV 機	DVCAM 機 DV 機	DVCAM DV
DVCAM ²⁾	DVCAM 機	DVCAM 機 DV 機	DVCAM DV
DVCAM ²⁾	DV 機 ³⁾	DVCAM 機	DVCAM (機種によってはできないものもある)
		DV 機	DV

1) DV 規格で記録されたテープをミニ DVCAM 機を使って DV ダビングすると、作成したテープの記録規格は以下のような DVCAM 規格になります。

—タイムコードの書式の一部に不整合がある (ただし、特殊な場合を除き編集精度に影響はありません)。

2) 1) のような DVCAM 規格のテープの場合に作成したテープは、オーディオ記録モードがアンロックモードで、タイムコードの一部に不整合がある DVCAM 規格のテープになります。

3) 機器によって再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しい DVCAM 規格のテープを使用しているにもかかわらず、作成したテープはタイムコードの一部に不整合がある DVCAM 規格のテープになります。

す。

- 上記 1) ~ 3) のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機の規格にかかわらず、機能に制約を生じることがあります。

編集時の制約

HDV/DV (i.LINK) 端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、DVCAM 規格と DV 規格の違いにより、以下の制約が生じます。

- トラック幅が違うため、DV 規格で記録されたテープの上に DVCAM 規格の機器を使って編集することはできません。
- DVCAM 規格の機器によっては、オーディオ記録モードがアンロックモードになっている DVCAM 規格のテープの上に編集できないことがあります。このような場合は、AV 接続ケーブルを使ってダビングし直してください。

“メモリースティック” について

“メモリースティック”（Memory Stick）は小さくて軽いのに、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。

本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック (マジックゲート非対応)	-
メモリースティック デュオ ¹⁾ (マジックゲート非対応)	○
マジックゲート メモリースティック	-
メモリースティック デュオ ¹⁾ (マジックゲート対応)	○ ^{2,3)}
マジックゲート メモリースティック デュオ ¹⁾	○ ³⁾
メモリースティック PRO	-
メモリースティック PRO デュオ ¹⁾	○ ^{2,3)}

¹⁾ 標準の約半分大のサイズです。

²⁾ 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

³⁾ “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

● 静止画の圧縮形式：本機は、撮影した静止画データをJPEG (Joint Photographic Experts Group) 方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。

● 静止画の画像のデータファイル名：

- 本機の画面表示：101-0001

- パソコンの画面表示：DSC00001.JPG

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

なお、本機に付属の“メモリースティック デュオ”には誤消去防止スイッチは付いていません。

取り扱い上のご注意

以下の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 取り扱いについて

以下のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。

“メモリースティック”について(つづき)

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

■ 使用場所について

以下の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプター (付属)の使用について

“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもご使用になれます。

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”スロットが破損し故障の原因となります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は2GBまでです。
- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File systems”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、49ページの手順にしたがい本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットすると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - － パソコンで加工した画像データ
 - － 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーシリーズには

InfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取り外してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、以下のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー「NP-QM71D/QM91D（別売り）」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

高容量バッテリー「NP-QM71D/QM91D（別売り）」のご使用をおすすめします。

- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のために撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残りに少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーバックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク) について

本機のi.HDV/DV(i.LINK)端子はi.LINKに準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM(DV)対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100(最大転送速度 約100Mbps*)

S200(最大転送速度 約200Mbps)

S400(最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

[Mega bits per second]の略で「メガビットパーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については69ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM(DV)対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
- i.LINKケーブルはソニー製i.LINKケーブルをお使いください。なお純正品以外のケーブルによるi.LINK端子の破損、故障、損害については弊社では責任を負いかねます。またこの場合の弊社製品の修理につきましては保証期間内でも有償修理とさせていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。4ピン↔4ピン(HDV/DVCAM(DV)ダビング時)

取り扱い上のご注意と お手入れ

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温や低温になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、**[■▲ Moisture condensation. Eject the cassette.]** (結露しています カセットを取り出してください)または**[■ Moisture condensation. Turn off for 1H.]** (結露しています 約1時間放置してください)と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、OPEN/EJECT **[■]**つまみは働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても**[■]**や**[▲]**が点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがあります。故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できないことがあります。また、再生画像が静止したり、ノイズが多く入ったり、音声途切れたりします。
- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
 - 再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青1色の画面になる。



- 再生画像が静止する。
 - 再生画面の一部が動かない。
 - 再生画像が出ない、または音声途切れる。
 - 録画中に「 Dirty video head. Use a cleaning cassette.」(ヘッドが汚れていませんクリーニングカセットを使ってください)が表示される。
- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

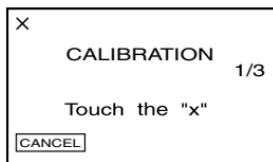
■お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。

- 画面調節(キャリブレーション)について
タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、以下の操作を行ってください。本機と壁のコンセントを、付属のACアダプターでつないで電源を取ってください。

- ① POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- ② 本機からACアダプター以外のケーブル類を外し、カセットと“メモリースティック デュオ”を取り出す。
- ③ [P-MENU] → [MENU] →  STANDARD SET → [CALIBRATION] → [OK] をタッチ。



- ④ “メモリースティック デュオ”などの角を使って、画面に表示される×マークを押す。
解除するには[CANCEL]をタッチ。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類

- 上記が手に付いたまま本機を扱う。
- ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターで電源につながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

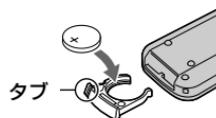
■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。

- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

“メモリスティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[削除]は、“メモリスティック デュオ”内のデータは完全には消去されることがあります。廃棄/譲渡の際は、“メモリスティック デュオ”本体を物理的に破壊するか、市販のパソコンによるデータ消去専用ソフトなどを使って“メモリスティック デュオ”内のデータを完全に消去することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式 (HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式 (DVCAM (DV))	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*1
録音方式 (HDV)	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビット Fs48kHz (ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式 (DVCAM (DV))	回転ヘッド 12ビット Fs32kHz (ステレオ 1、ステレオ 2) 16ビット Fs48kHz (ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式、1080/60i方式
使用可能カセット	MiniDV [®] マークのついたミニDVカセットまたは DVCAM マークのついたミニDVCAMカセット
テープ速度 (HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DVCAM)	約28.193mm/秒
テープ速度 (DV SP)	約18.812mm/秒
録画/再生時間 (HDV)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
録画・再生時間 (DVCAM)	41分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DV SP)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時： 約2分40秒 (PHDVM-63DM使用時) ACアダプター使用時： 約1分45秒 (PHDVM-63DM使用時)
ファインダー	電子ファインダー：カラー、モノクロ

撮像素子	5.9mm (1/3型) CMOSセンサー 総画素数：約297万画素 動画時有効画素数(4:3モード)：約149万画素 動画時有効画素数(16:9モード)：約198万画素 静止画時有効画素数(4:3モード)：約276万画素 静止画時有効画素数(16:9モード)：約207万画素
ズームレンズ	Carl Zeiss Jena Parafocal T* 10倍(光学)、40倍(デジタル) f=5.1～51.0mm 35mmカメラ換算では「CAMERA-TAPE」時*2：41～480mm (16:9モード) (4:3モードでは50～590mm) 「CAMERA-TAPE」FULL SCAN時：40～400mm (16:9モード) (4:3モードでは49.3～493mm) 「CAMERA-MEMORY」時：40～400mm (16:9モード) (4:3モードでは37～370mm) F1.8～2.1 フィルター径37mm
色温度切り換え	[AUTO]、[ONE PUSH]、[INDOOR] (3 200K)、[OUTDOOR] (5 800K)
最低被写体照度	15 lx (ルクス) (F1.8) 0 lx (ルクス) (NightShot時)

*1 (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

*2 広角画素読み出しによる実動作値

出力端子

A/V OUT端子	10ピン特殊コネクタ 映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡 Y出力 1Vp-p、75 Ω不平衡 C出力 0.286Vp-p、75 Ω 不平衡 音声：327mV (47 kΩ負荷 時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
COMPONENT OUT端子	Y：1Vp-p、75 Ω不平衡 P _B /P _R 、C _B /C _R ：525mVp-p (75%カラーバー)
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック(φ 3.5)

入/出力端子

MIC入力端子	ステレオミニジャック(φ 3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック (φ 2.5)
INPUT1/ INPUT2端子	XLR3ピン、凹 -60dBu：3k Ω +4dBu：10k Ω (0dBu=0.775Vrms)
USB端子	mini-B
HDV/DV端 子	i.LINK (IEEE1394 4ピンコネ クター S100)

液晶画面

画面サイズ	6.9cm (2.7型、アスペクト比 16:9)
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力	ファインダー使用時、明るさ標準 (XLRアダプター装着時)： HDV記録時 6.4W DVCAM (DV)記録時 5.7W 液晶画面使用時、明るさ標準 (XLRアダプター装着時)： HDV記録時 6.6W DVCAM (DV)記録時 5.9W
動作温度	0°C～40°C
保存温度	-20°C～+60°C

外形寸法	71×103×191mm (最大突起部を除く)(幅×高さ× 奥行き)
本体質量	約670g(本体のみ)
撮影時総質量	約1.1kg(バッテリー NP-FM50、テープ(PHDVM- 63DM)、レンズカバー付きフ ード、XLRアダプター、マイク含 む。)
付属品	8ページをご覧ください。

ACアダプター AC-L15A

電源	AC100V～240V、 50Hz/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC 8.4V *
動作温度	0°C～40°C
保存温度	-20°C～+60°C
外形寸法	約56×31×100mm (最大突起部をのぞく)(幅×高さ ×奥行き)
質量	約190g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラ
ベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FM50

最大電圧	DC 8.4V
公称電圧	DC 7.2V
容量	公称容量：8.5Wh (1180mAh) 定格(最小)容量：7.9Wh (1100mAh)
最大外形寸法	約38.2×20.5×55.6mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約76g
使用温度	0°C～40°C
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく
変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ時にお買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーのお問い合わせ窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池、「メモリースティック デュオ」など付属品を飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中及び消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災やけがの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。



禁止

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。



禁止

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品を取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリースティック デュオ”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。



禁止

+48VスイッチがONのとき、INPUT1/2端子には外部電源(+48V)対応以外の機器を接続しない

+48VスイッチがONのとき、外部電源(+48V)に対応していない機器(マイクなど)をINPUT1/2端子に接続すると、機器が故障する可能性があります。



禁止

⚠ 危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項
をよくお読みください。

⚠ 危険

- バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

⚠ 警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止

⚠ 注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



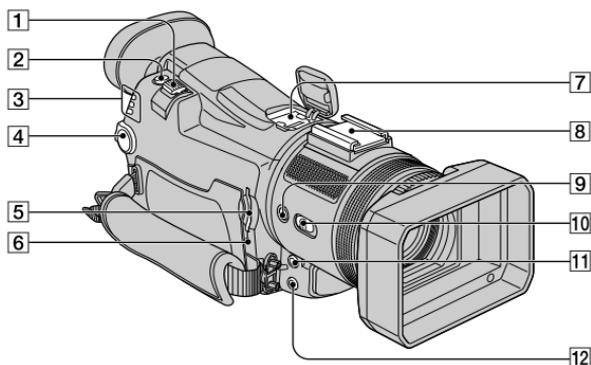
Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

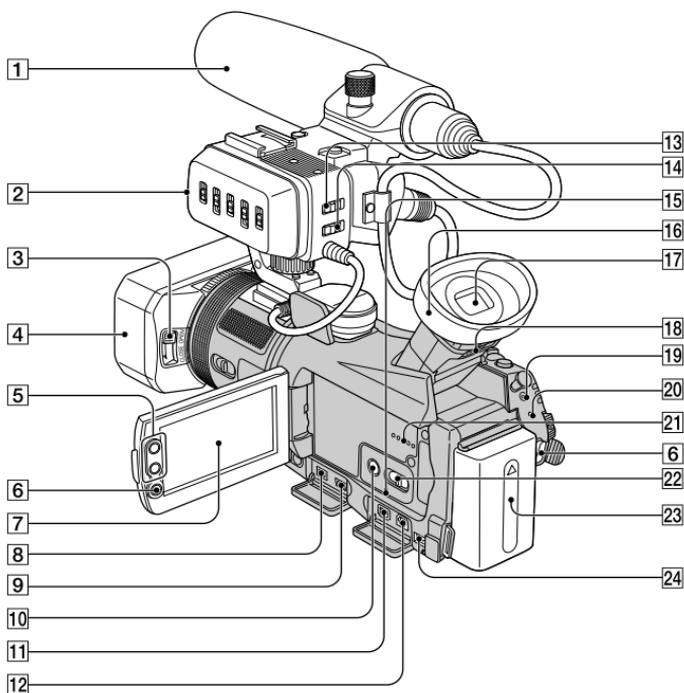
各部のなまえ

()内は参照ページです。

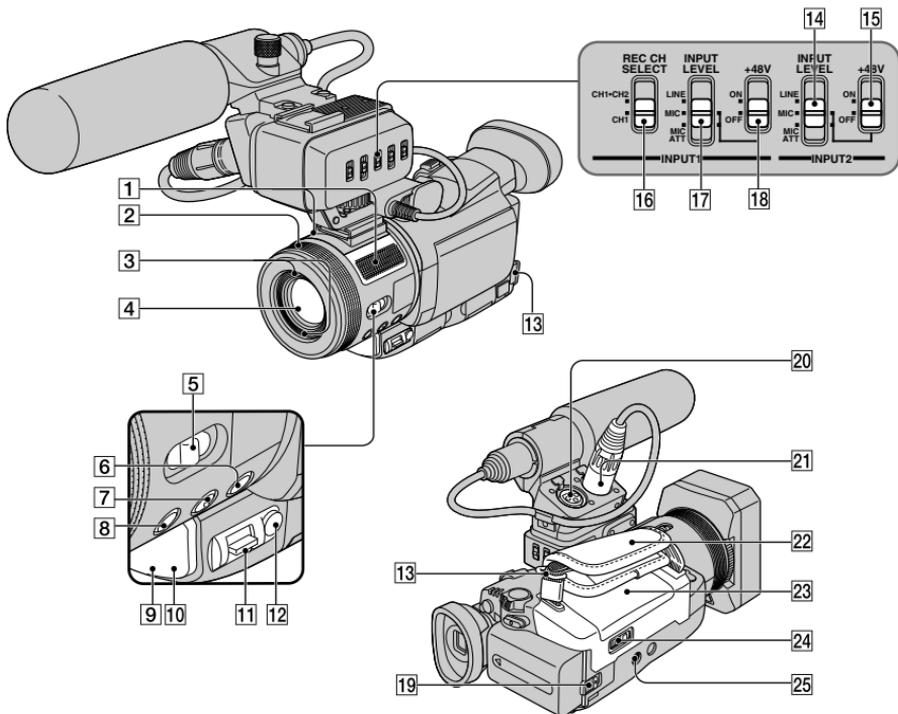


- 1 ズームレバー (22)
- 2 PHOTO ボタン(20)
- 3 CAMERA-TAPE、CAMERA-MEMORY、PLAY/EDIT ランプ(12)
- 4 POWER スイッチ(12)
- 5 “メモリースティック デュオ” スロット(16)
- 6 アクセスランプ(16、105)
- 7 アクティブインターフェースシュー  (75)
- 8 アクセサリーシュー (18)
- 9 ASSIGN ボタン(25)
- 10 NIGHTSHOT スイッチ(23)
- 11 MIC (マイク) 端子(75)
- 12 ♪ (ヘッドホン端子) (75)

各部のなまえ(つづき)



- | | | | |
|----|--------------------------|----|-------------------|
| 1 | マイク(18) | 19 | LANC端子(75) |
| 2 | XLRアダプター (18) | 20 | CHG (充電)ランプ(9) |
| 3 | レンズカバーレバー (19) | 21 | スピーカー (25) |
| 4 | レンズカバー付きフード(8, 19) | 22 | AUTO LOCKスイッチ(23) |
| 5 | ズームボタン(22) | 23 | バッテリーバック(9) |
| 6 | REC START/STOPボタン(20) | 24 | DC IN端子(75) |
| 7 | 液晶画面/タッチパネル(4, 14) | | |
| 8 | i.LINK端子(i.LINK) (75) | | |
| 9 | USB端子(75) | | |
| 10 | DISPLAY/BATT INFOボタン(25) | | |
| 11 | COMPONENT OUT端子(75) | | |
| 12 | A/V OUT端子(75) | | |
| 13 | INPUT1 LOW CUTスイッチ(19) | | |
| 14 | INPUT2 LOW CUTスイッチ(19) | | |
| 15 | RESET (リセット)ボタン(25) | | |
| 16 | アイカップ | | |
| 17 | ファインダー (13) | | |
| 18 | 視度調整つまみ(13) | | |



- | | |
|---|---|
| <p>1 内蔵ステレオマイク(25)</p> <p>2 ズームリング/フォーカスリング(22、23)</p> <p>3 レンズカバー付きフード取り付け部</p> <p>4 レンズ(カルツァイスレンズ搭載)
(4)</p> <p>5 FOCUS/ZOOMスイッチ(22、23)</p> <p>6 BACK LIGHT ボタン(23)</p> <p>7 EXPANDED FOCUS ボタン(23)</p> <p>8 TELE MACRO ボタン(23)</p> <p>9 REC ランプ(25)</p> <p>10 リモコン受光部(25)</p> <p>11 EXPOSURE/VOLレバー (22)</p> <p>12 EXPOSURE ボタン(22)</p> <p>13 ショルダーストラップ取り付け部</p> <p>14 INPUT2 INPUT LEVEL スイッチ
(18)</p> | <p>15 INPUT2 +48V スイッチ(18)</p> <p>16 INPUT1 REC CH SELECT スイッチ
(18)</p> <p>17 INPUT1 INPUT LEVEL スイッチ
(18)</p> <p>18 INPUT1 +48V スイッチ(18)</p> <p>19 BATT (バッテリー取り外し)つまみ
(10)</p> <p>20 INPUT2 端子(18)</p> <p>21 INPUT1 端子(18)</p> <p>22 グリップベルト(12)</p> <p>23 カセットカバー (16)</p> <p>24 OPEN/EJECT  つまみ(16)</p> <p>25 三脚用ネジ穴(24)</p> |
|---|---|

索引

ア行

アイコン.....画面表示へ	
アイリンク.....i.LINKへ	
赤目軽減.....44	
明るさ調節	
.....SPOT METERへ	
アクセサリシュー	
.....18, 119	
アクティブインターフェース	
シュー.....75	
頭出し.....29	
圧縮形式.....105	
アフターサービス.....114	
アフレコ.....93	
印刷.....73	
インデックス表示.....21	
インデックス表示ボタン...27	
インフォリチウムバッテリー	
.....107	
ウインドスクリーン.....8, 18	
液晶画面.....13	
LCD BL LEVEL.....58	
LCD BRIGHT.....58	
LCD COLOR.....58	
液晶画面バックライト.....13	
エンドサーチ操作.....29	
エンドサーチ/レックレビュー	
画面切り換えボタン.....26	
お知らせメッセージ.....97	
お手入れ.....109	
主な仕様.....112	
音量調節.....21	

カ行

海外で使う.....100	
画質.....47	
カセット.....16, 101	
入れる/取り出す.....16	
カセットラベル.....ラベルへ	
画像サイズ	
静止画.....48	
画像消去.....72	
画像消去ボタン.....27	
画面調節.....110	
画面表示.....26	
逆方向再生.....54	
逆光補正.....23, 86	
キャリブレーション	
.....CALIBRATIONへ	
グリップベルト.....12	

警告表示.....96	
結露.....109	
広角.....22	
高速アクセス.....21	
誤消去防止スイッチ.....105	
誤消去防止ツマミ.....102	
コマ送り.....54	
コンセント.....9	
コンピューター.....パソコンへ	
コンポーネントビデオ	
ケーブル.....33	

サ行

再生.....21	
逆方向再生.....54	
コマ送り.....54	
スロー再生.....54	
再生可能時間.....11	
再生ズーム.....24	
再生フォルダ選択.....50	
撮影.....20	
撮影可能時間.....10	
撮影可能枚数.....48	
残量	
テープ.....26	
バッテリー.....25	
残量表示.....63	
自己診断表示.....96	
時差補正.....64	
自分撮り.....24	
充電時間.....10	
手動ピント合わせ.....23	
準備.....8	
消去	
画像.....72	
初期化.....フォーマットへ	
ズームリング.....22	
ズームレバー.....22	
スピーカー.....25	
スポット測光	
.....SPOT METERへ	
スロー再生.....54	
静止画	
圧縮形式.....105	
画質.....47	
画像サイズ.....48	
静止画設定.....47	
絶縁シート.....30	

接続

テレビに.....32	
パソコンに.....76	
ビデオ機器に.....67	

タ行

対面撮影.....24	
タッチパネル.....14	
ダビング.....69	
端子.....75	
端子カバー.....75	
つなぎ撮り... エンドサーチへ	
データコード.....62	
テープ.....カセットへ	
テープ再生切り換えボタン	
.....27	
テープ残量.....26	
テレビ方式.....100	
電源コード.....8	
時計合わせ.....15	

ナ行

内蔵充電式電池.....111	
内蔵ステレオマイク.....25	
日時あわせ.....15	
ネガアート.....51	

ハ行

パーソナルメニュー...36, 65	
項目削除.....65	
項目追加.....65	
表示位置変更.....66	
リセット.....66	
パーソナルメニューボタン	
.....26	
パソコン.....76	
バッテリー.....9	
バッテリー残量...25, 26, 81	
パネル.....液晶画面へ	
ピクチャーサーチ.....21	
ピクトブリッジ	
.....PictBridgeへ	
日付サーチ.....30	
ビデオカセット...カセットへ	
ビデオ操作ボタン.....27, 30	
ビデオヘッド.....110	
ピント合わせ...フォーカスへ	
ファインダー.....13	
明るさ.....58	
視度調整つまみ.....13	

フォーカス	23
フォーカスリング	23
フォーマット(初期化)	49
フォルダ	
PB.FOLDER 選択	50
REC FOLDER 選択	50
作成	49
フラッシュ設定	44
フラッシュレベル	45
プリントマーク	72
プロテクト	72
ヘッドホン端子	75
変速再生	54
望遠	22
保証書	114
ボタン電池	111

マ行

前の画像/次の画像ボタン	27
マッキントッシュ	
..... Macintosh へ	
満充電	10
メニュー	36
CAMERA SET メニュー	41
EDIT/PLAY メニュー	54
MEMORY SET メニュー	47
PICT.APPLI メニュー	50
STANDARD SET	
メニュー	55
TIME/LANGU. メニュー	64
一覧	38
使いかた	36
パーソナルメニュー	36
"メモリースティック	
デュオ"	16
入れる/取り出す	16
誤消去防止スイッチ	105
撮影可能枚数(静止画)	48
フォーマット	49
"メモリースティック"	105
メモリースティック デュオ	
アダプター	8, 106
"メモリースティック デュ	
オ"スロット	16

持ちかた	12
------	----

ラ行

ラベル	102
リセット	25
リチャージャブルバッテリー	
パック	バッテリー へ
リモコン受光部	25
リモコン発光部	30
レックレビュー	29
レビューボタン	26
レンズカバー付きフード	19
レンズカバーレバー	19
録画操作	70

ワ行

ワイド切換	56
ワイヤレスリモコン	
..... REMOTE CTRL へ	

A

A/V OUT 端子	32, 67
AC アダプター	9
AE SHIFT	43, 91
ALLSCAN MODE	58
ALL ERASE	49
ASSIGN BTN	64
ATW SENS	44
AUDIO CH SEL	56
AUDIO MIX	56
AUDIO MODE	56
AUTO LOCK	23
AUTO SHUTTER	43
AV 接続ケーブル	33, 67

B

B&W	52
BATT (バッテリー取り外し)	
つまみ	10
BEACH & SKI	41
BLACK FADER	50
BLACK STRTCH	44
BURST	47

C

CALIBRATION	63, 110
CAMERA COLOR	43
CAMERA SET メニュー	
.....	41
CHG (充電)ランプ	9
CINEFRAME	43

CINEMATONE γ	43
CLOCK SET	15, 64
COLOR BAR	62
COLOR SLOW S (Color	
Slow Shutter)	45, 92
COMPONENT	58
COMPONENT OUT 端子	
.....	32, 75
CONV.LENS	46

D

D.EFFECT	51, 92
DATA CODE	62
DATE REC	63
DC プラグ	9
DC IN 端子	9
DIGITAL ZOOM	46, 86
DISPLAY/BATT INFO	13
DISP OUTPUT	63
DOWN CONVERT	59
DVCAM (DV) 規格	
.....	55, 103
DV SP	REC MODE へ

E

EDIT/PLAY メニュー	54
END SEARCH	54
EXP.BRKTG (ブラケット)	
.....	47
EXPOSURE	22, 42, 91
EXPOSURE/VOL レバー	
.....	22
EXPOSURE ボタン	22
EXT SUR MIC	57

F

FADER	50, 92
FILE NO.	49
FINE	47
FLASH (フラッシュモーション)	
.....	51
FLASH SET	44
FOCUS/ZOOM スイッチ	
.....	22, 23
FS32K	56
FS48K	56
FULL SCAN	47

H

HDV1080i	55
HDV/DV端子	75
HDV規格	55, 101
HD(ハイビジョン)画質	32
HISTOGRAM	46, 92

I

i.LINK	108
i.LINKケーブル	70, 79
i.LINK CONV.	59
INDOOR	42
InfoLITHIUMバッテリー	107
INPUT1/INPUT2端子	18, 121
INT.REC-STL	52

J

JPEG	105
------	-----

L

LANC 端子	75
LANDSCAPE	41
LANGUAGE	64
LCD BL LEVEL	58
LCD BRIGHT	58
LCD COLOR	58

M

Machintosh	76
MARKER SET	62
MEMORY SETメニュー	47
MENU ROTATE	63
MIC(マイク)端子	75
MIC NR.	56
MOSAIC	52
MOSAIC FADER	50

N

NEW FOLDER	49
NightShot	23
NS LIGHT(NightShotライ ト)	45
NTSC	100

O

OLD MOVIE	51
ONE PUSH	42

ONE PUSH WB	42
OPEN/EJECTつまみ	16
OUTDOOR	42

P

P.メニュー	パーソナルメニューへ
PAL	89
PASTEL	52
PB FOLDER	50
PEAKING	44
PHOTO ボタン	20, 30
PICT.APPLI.メニュー	50
PICT.EFFECT	51
PictBridge	73
PictBridge PRINT	73
PORTRAIT	41
POWERスイッチ	12
PROGRAM AE	41, 90

Q

QUICK REC	64
-----------	----

R

REC ランプ	25, 63
REC CTRL	54
REC FOLDER	50
REC FORMAT	55
REC MODE(録画モード)	55
REC START/STOP ボタン	20
REMOTE CTRL	30, 63
RESET(リセット)ボタン	25

S

S1, S2映像端子	32, 35, 67
SD(標準)画質	32
SELF-TIMER	46
SEPIA	51
SETUP	47
SHARPNESS	42, 91
SHOT TRANS	52
SHUTTR SPEED	43
SKNTON DETAIL	51
SLIDE SHOW	51
SOLARIZE	52
SPOTLIGHT	41

SPOT FOCUS	44, 91
SPOT METER	41, 90
STANDARD SETメニュー	55
STATUS CHECK	60
STEADYSHOT	46, 86
STEREO	57
SUNSET&MOON	41
SUPER NS	45

T

TC/UB SET	60
TELE MACRO ボタン	23, 91
TIME/LANGU.メニュー	64
TIME CODE	26
TRAIL	51

U

USB端子	75
-------	----

V

VCR HDV/DV	55
VF B.LIGHT	58
VF COLOR	58
VF POWER	58
VOLUME	56

W

WB SHIFT	44
WHITE BAL	42
WHITE FADER	50
WIDE STEREO	57
WORLD TIME	64

X

XLR SET	57
---------	----

Z

ZEBRA	45
ZERO SET MEMORY ボタン	30
ZOOM	22

数字

1080i/480i	58
480i	58
480p/480i	58

商標について

- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"メモリースティック PRO デュオ"、**MEMORY STICK PRO DUO**、"マジックゲート"、**MAGIC GATE**、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または商標登録です。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、はソニー株式会社の商標です。
- **Mini DV** Digital Video Cassette は商標です。
- **DVCAM** は商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSは Apple, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- Pentiumは Intel Corporationの登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所 250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。